

観光復興対策実施計画

I. 計画の名称

宮城県観光復興対策実施計画

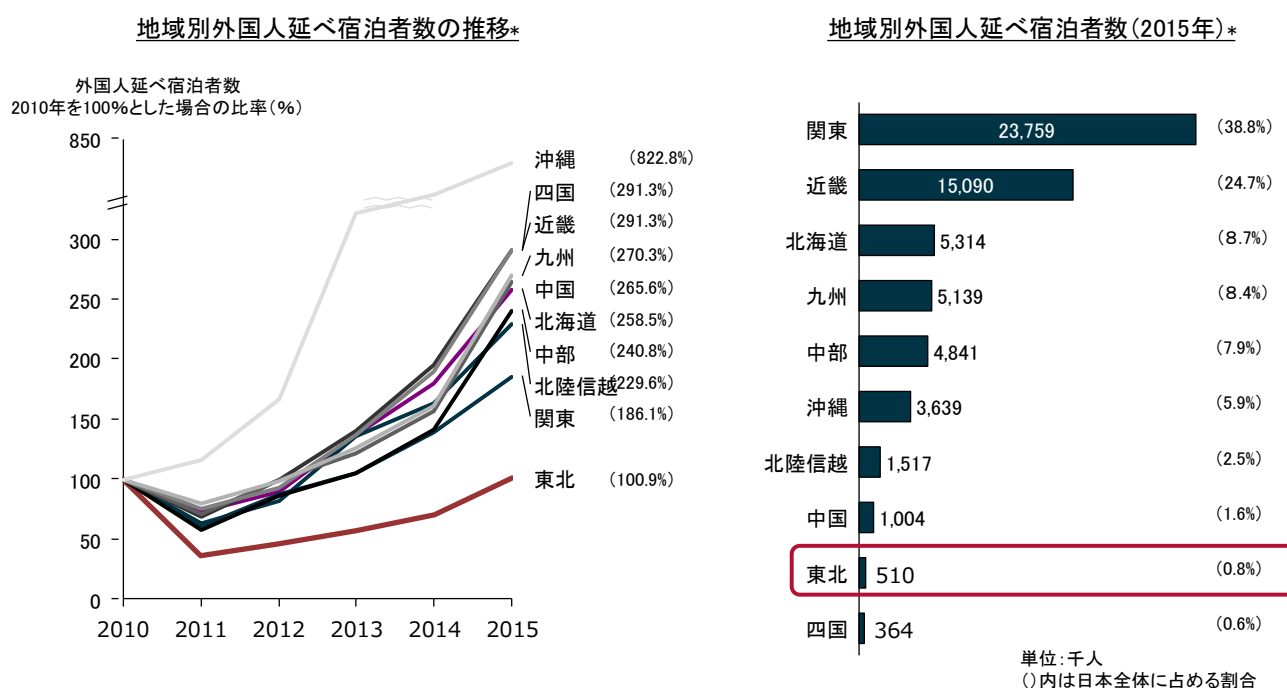
II. 計画の目標

1. 東北地方のインバウンドに係る現状と課題

我が国のインバウンドは大きく成長しており、2017年の訪日外国人旅行者数は過去最高の2,869万人を達成した。政府はさらなる高みを目指し、2020年に4,000万人、2030年に6,000万人という目標を掲げており、今後のさらなる成長が期待される。

一方で、東北地方の外国人延べ宿泊者数は2015年に約51万人とようやく震災前の水準に回復し、2017年には過去最高となる約94万人に達したものの、全国に占める割合は1.3%と依然として低く、東北地方は全国的なインバウンド急増の流れから遅れた状況が続いている。

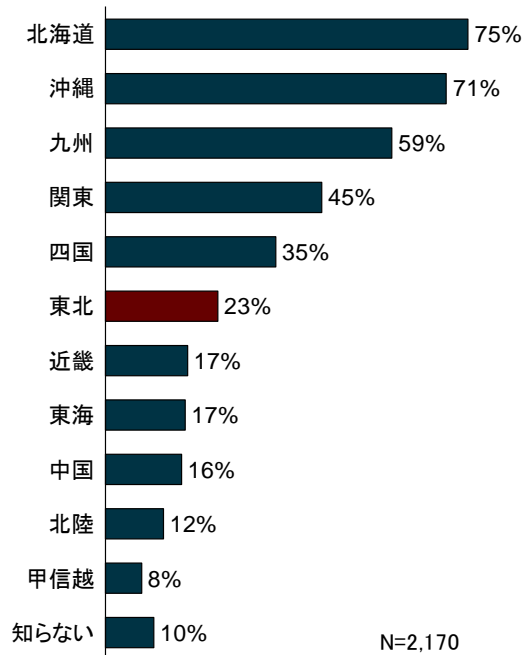
図表 1 外国人延べ宿泊者数の動向



その理由として、海外市場に対して東北地方の認知度が低いこと、魅力が伝わっていないことが挙げられる。観光庁が実施した調査¹によると、訪日主要市場における東北地方の認知度は約23%であり、地方別でいうと6番目の水準であるものの、北海道、沖繩、九州等知名度の高い地域からは大きく引き離されている。

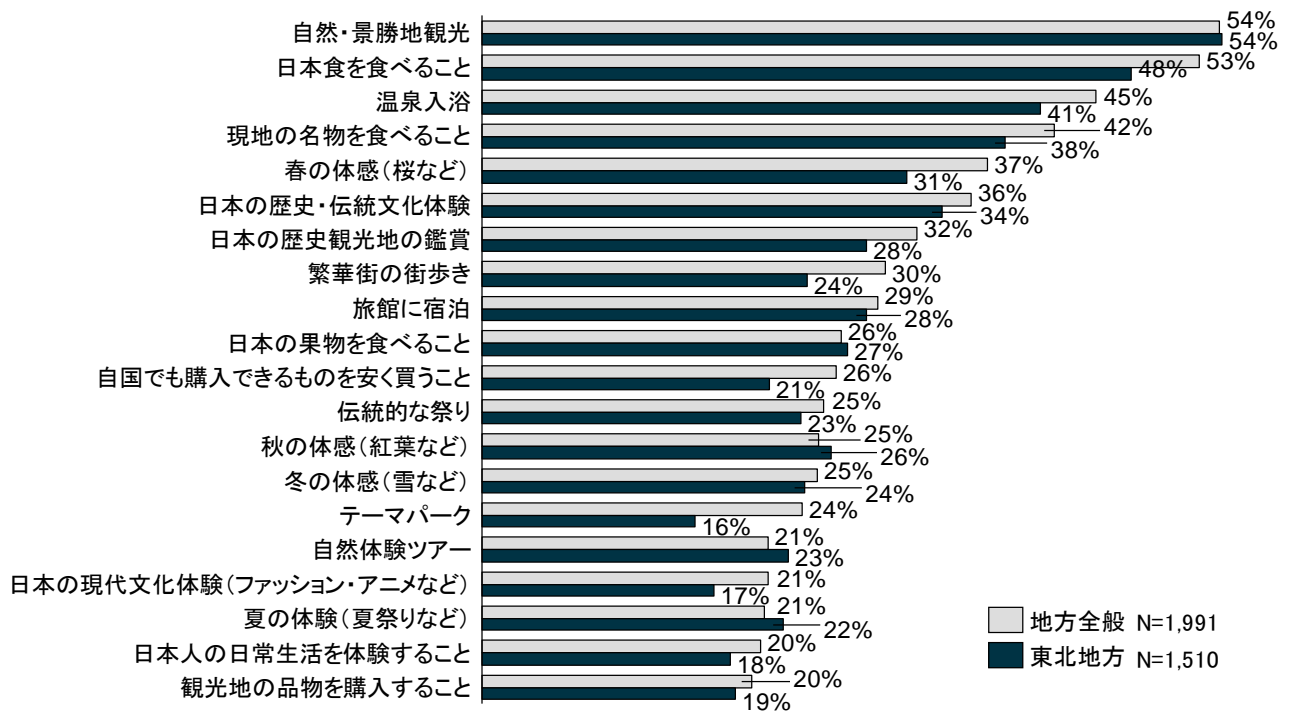
¹ 2016年5月に、インターネットを利用してアンケート調査を実施。対象市場は中国、韓国、台湾、香港、タイ、米国、豪州の7か国・地域であり、各市場から310サンプル、計2,170サンプルを回収。

図表 2 日本における各地域の知名度



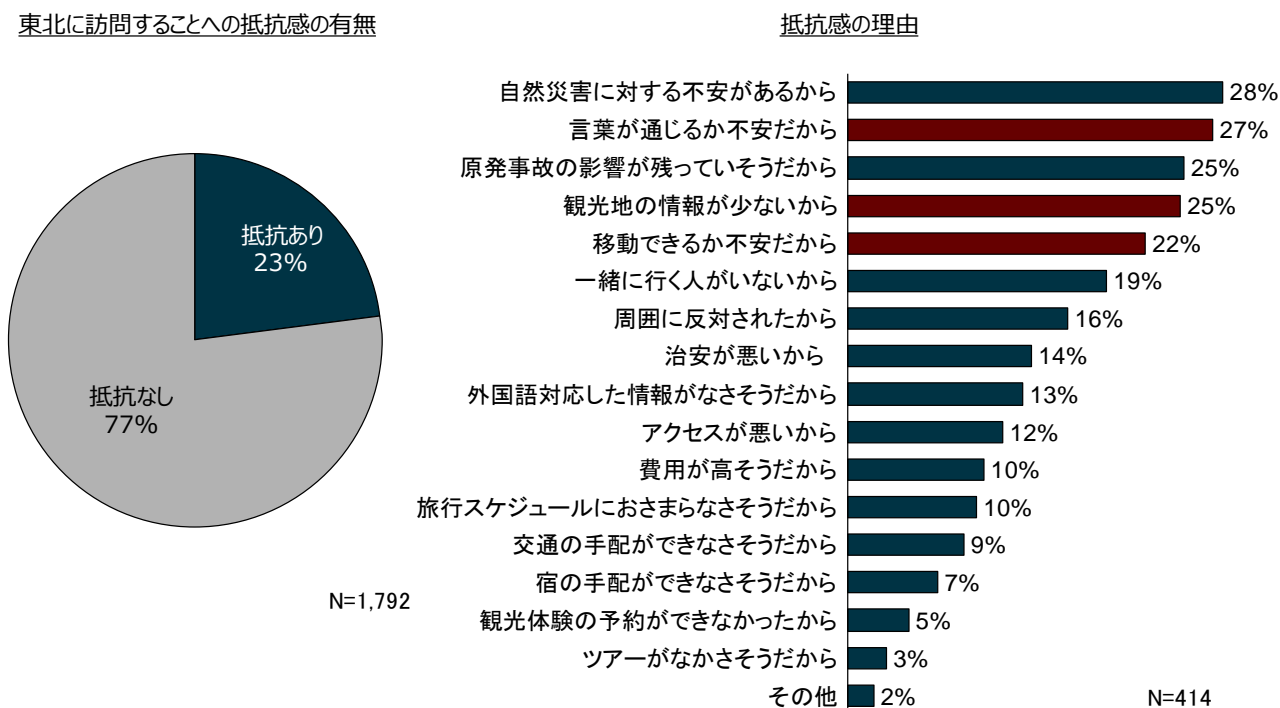
また、東北地方は自然が豊かであること、紅葉の名所が複数あることについては知られているが、食や温泉、桜の鑑賞等、外国人旅行者が日本の地方で求める体験についてのニーズは他の地域に比して低い水準にあり、これらの魅力が十分に伝わっていないことが懸念される。

図表 3 日本の地方に求める体験/東北地方に求める体験



さらに同調査によると、東北への訪問に抵抗感を持つ人が 20%程度存在する。理由として、自然災害や原発事故の影響への懸念等、根強い風評被害と並んで、言語対応に対する不安や、移動に対する不安、観光情報の不足等が挙げられている。

図表 4 東北訪問についての抵抗感とその理由



以上のような状況を踏まえ、政府が掲げる目標である 2020 年の外国人延べ宿泊者数 150 万人の達成に向けて、認知度やブランドイメージの向上、魅力的な観光コンテンツの磨き上げ及び情報発信、交通アクセスや受入環境の改善に、東北一丸となって取り組むことが重要である。

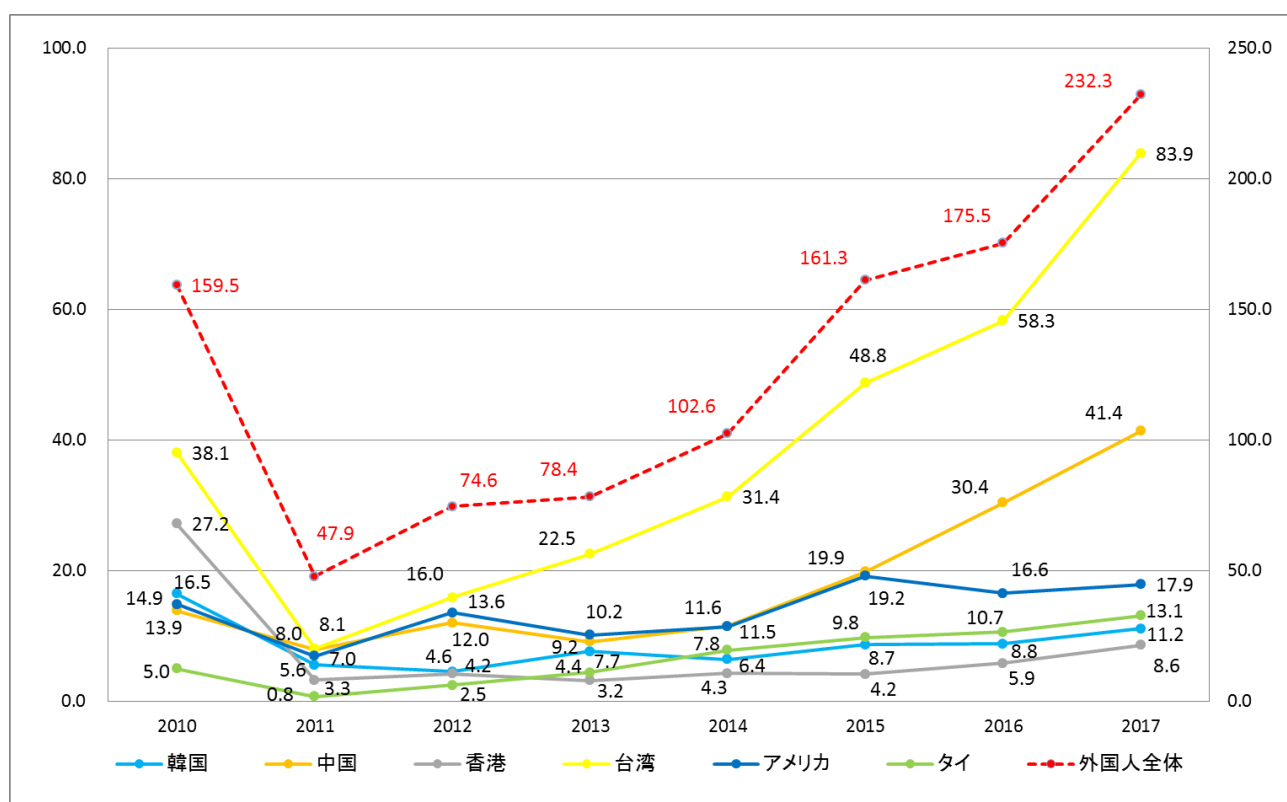
2. 県のインバウンドに係る現状分析

① 外国人旅行者数の推移

本県の外国人延べ宿泊者数は東日本大震災の影響により、2011年には47.9千人と、前年比30%と大幅に落ち込んだ。

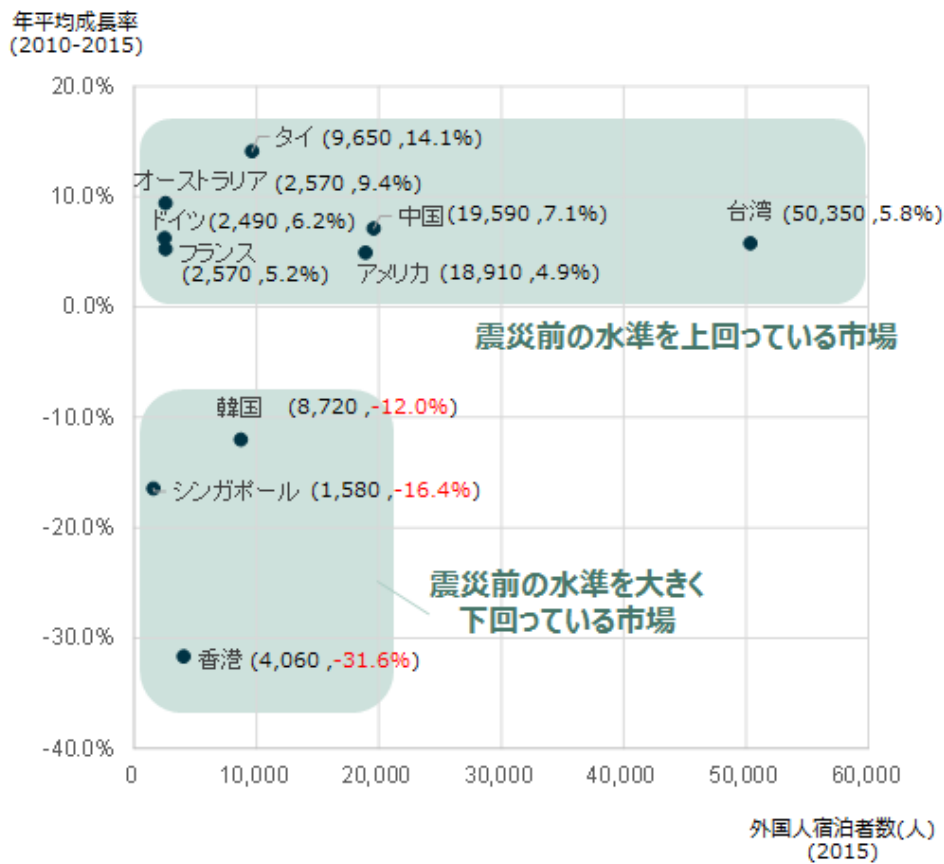
その後は着実に回復を続け、2015年には震災前を超える161.3千人（震災前の2010年比101%）まで回復し、2017年には232.3千人と過去最も多くの外国人が訪れているが、全国の訪日宿泊者数の成長と比較すると依然として厳しい状況が続いている。

図表 5 本県における外国人延べ宿泊者数の推移



また、国別に震災前後の外国人延べ宿泊者数を比較すると、福島第一原発事故の風評がまだまだ根強く、震災後仙台空港への直行便が休止・減便している香港、韓国の落ち込みが大きい。一方、台湾、中国、タイ等は震災前の水準を上回る。

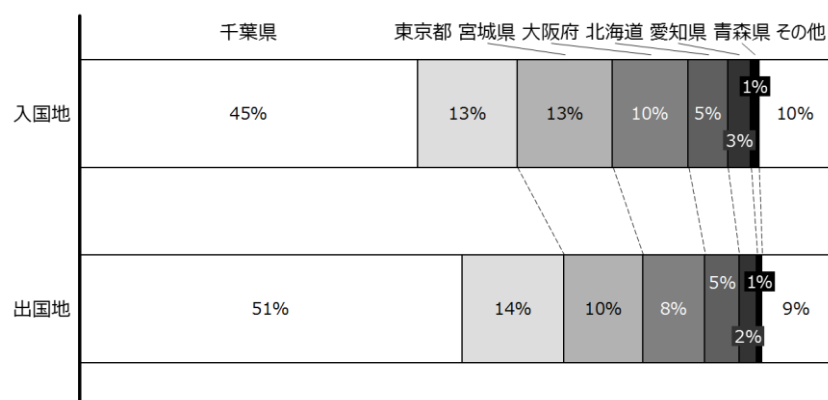
図表 6 宮城県における成長率・宿泊人数の分布図



② 外国人旅行者の動態

観光庁が実施した Wi-Fi 利用履歴及びGPSログ解析による、宮城県訪問外国人の動態調査では、6割近くが千葉県又は東京都から入国・出国しており、宮城県からの出入国は1割程度にとどまる。外国人観光客増加のためには、仙台空港への直行便を増やす取組みとあわせて、首都圏や北海道から入国する外国人向けの二次交通の整備や情報発信等も必要である。

図表 7 宮城県訪問外国人の出入国場所



*Wi2社「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」のWi-Fi利用履歴およびGPSログ（2015年4月～2016年3月）を、2015年の港別出入国外国人数を補正して数値を算出

図表 8 宮城県訪問外国人の動態（上位10位）

順位	移動区間	延べ 人数
1	仙台市青葉区 → 仙台市宮城野区	66
1	仙台市宮城野区 → 仙台市青葉区	66
3	仙台市泉区 → 仙台市青葉区	59
4	山形市 → 仙台市青葉区	57
5	仙台市青葉区 → 山形市	48
5	仙台市青葉区 → 仙台市泉区	48
7	青森市 → 函館市	46
7	函館市 → 青森市	46
9	青森市 → 仙台市青葉区	32
10	青森市 → 弘前市	31
10	宮城郡松島町 → 仙台市青葉区	31
10	十和田市 → 青森市	31
10	青森市 → 十和田市	31

作成：株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス，延べ移動人数=5,257人

Wi-Fi 利用履歴及びGPSログ解析による動態調査では、仙台市内の移動が多いものの、山形市との県をまたいだ移動も多い。また、函館市、青森市、弘前市等との間の移動も見られ、北海道、青森県等と組み合わせて、広域的に移動する旅行者がいることが分かる。

③ 外国人旅行者のニーズ

観光庁が実施したSNS分析²によると、いずれの国でも、蔵王キツネ村の投稿数が多く、ウェブ上で大きな話題となっている。

台湾、香港は他市場と比べて「瑞鳳殿」の投稿件数が多く、仙台市中心部の観光スポットを結ぶ巡回バス「るーぷる仙台」と関連付けた投稿も見られる。

中国の「仙台（仙台市）」に関する投稿は、魯迅等、中国人に親しみのある人物ゆかりの地として仙台に触れられている。一方、台湾、香港と異なり、観光資源名の記載が少なく、具体的な観光の目的地としての、仙台・宮城の認知度向上が必要である。

欧米豪からの「仙台（仙台市）」「仙台城跡（青葉城跡）」の投稿の中には、仙台市が重要な舞台となっているアニメや、伊達政宗を登場人物としたゲームを話題としたものが見られるのが特徴である。

² 2016年5月に、各県のTripadvisor上位10位までの観光資源及びその他の有力観光資源のSNS投稿を調査し、言語ごとに投稿数を算出したもの。

図表 9 国別の SNS 投稿件数順位（上位 10 位）

	(1) 欧米豪	(2) 台湾・香港	(3) タイ	(4) 中国	(5) 韓国
1	キツネ村 444,241件	仙台(仙台市) 6,670件	田代島、猫島 34,264件	仙台(仙台市) 7,376件	キツネ村 15,827件
2	田代島、猫島 318,283件	田代島、猫島 2,501件	キツネ村 15,158件	田代島、猫島 5,368件	田代島、猫島 11,824件
3	仙台(仙台市) 12,225件	牛タン 1,866件	牛タン 5,821件	キツネ村 1,059件	仙台市 846件
4	仙名城址(青葉城址) 5,799件	瑞鳳殿 1,677件	仙名城址(青葉城址) 60件	牛タン 1,059件	牛タン 190件
5	せんだいメディアテーク 1,721件	キツネ村 1,390件	仙台七夕祭り 30件	秋保温泉 896件	瑞鳳殿 80件

※「田代島、猫島」の投稿数には、愛媛県の猫島「青島」に関する投稿数が含まれる。

また、観光庁が実施した調査¹によると、宮城県内で最も認知度がある観光資源は「松島湾」であるが、13%の認知度に留まっている。日本三景の一つであり、2013年12月に日本で初めて「世界で最も美しい湾クラブ」への加入が認められた松島湾を、有力な観光地の一つとして認知度向上を図るとともに、松島湾をきっかけとして、県内の他の観光地にも波及効果を広めていきたい。

3. 地域の課題

① 地域の現状や市場ニーズ把握に係る課題（対応する事業：観光復興促進調査事業）

地域の魅力やコンテンツの発掘、課題の整理、及び対象国別の市場ニーズの把握等を目的とした基礎的な調査に関しては一定程度の結果を得たところであるが、東日本大震災の被災沿岸地域等これからインバウンドへ取り組む市町村等においては、現状把握が急務である。

また、既に取組を進めている地域においても、結果的に事業の効果が適切に発揮されていない場合も散見されている。

② インバウンド推進体制に係る課題（対応する事業：地域取組体制構築事業）

DMOや地域の観光協会、自治体等のインバウンドを推進する組織の整備は進んできたが、エリア・目的が重複している場合の役割分担がなされていないため、連携体制を取りにくく、最大限の効果が発揮できていない。また、自走に向けて今後の組織のあり方を検討していく必要がある。

③ 海外市場からの認知度・イメージ等に係る課題（対応する事業：プロモーション強化事業）

東北一体となったプロモーションの展開や、メディア・SNS・インフルエンサー等を活用した情報発信等により、以前より認知度は向上してきているが、東北、宮城の知名度は未だ低い状況にあり、魅力を伝え切れていない。

また、国によって東北・宮城の認知度や福島第一原発事故に対するイメージに大きな違いがあり、現状を適切に反映したプロモーションを実施する必要がある。

④ 受入環境・交通アクセス等に係る課題（対応する事業：受入環境整備事業）

首都圏等、外国人観光客受入環境が整っている地域と比較して、多言語対応の案内看板や免税一括手続きカウンター、無料Wi-Fi等の整備が不足している。また、地域によって整備状況に格差があることや、コンテンツ・周遊ルートの造成と一体となった整備が進められていないケースもある。

さらに、2019年のラグビーワールドカップや2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ハード面だけではなく、外国人観光客の接客対応等ソフト面の整備も同時に進めていく必要がある。

⑤ 滞在コンテンツに係る課題（対応する事業：滞在コンテンツ充実・強化事業）

国内では知名度が高く、且つ外国人が日本・東北に求める体験ができる観光地であっても、認知度の低さや、多言語案内・Wi-Fiの整備不足、及び二次交通の未発達といった理由で集客力が伸びていないスポットもある。

また、地域に観光施設が点在しているが、交通手段が路線バスやタクシー等に限られる場合があり、日本語が分からない外国人観光客にとっては周遊しづらく、長期滞在に繋がりにくい状況にある。

4. 評価指標と目標

	2019年	2020年	2021年
外国人延べ宿泊者数 (単位：万人)	39.6	50.0	50.0
外国人旅行消費額 (単位：億円)	124.0	145.1	145.1

※2021年度目標値はコロナ禍以前の水準への回復を図るため据え置きとする。

① 外国人延べ宿泊者数

評価指標の設定理由：日本政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年に東北6県の外国人延べ宿泊者数を2015年実績の約3倍である150万人泊とする目標が定められているため、この目標達成に向けて、本県も目標設定を行うもの。

目標値の設定理由：2020年に本県の外国人延べ宿泊者数を50万人泊とすることを目標とし、2015年実績(15.6万人泊)から2020年に50万人泊となる場合の年平均成長率(26.3%)を算出。各年の目標値を、前年数値×年平均成長率として設定した。

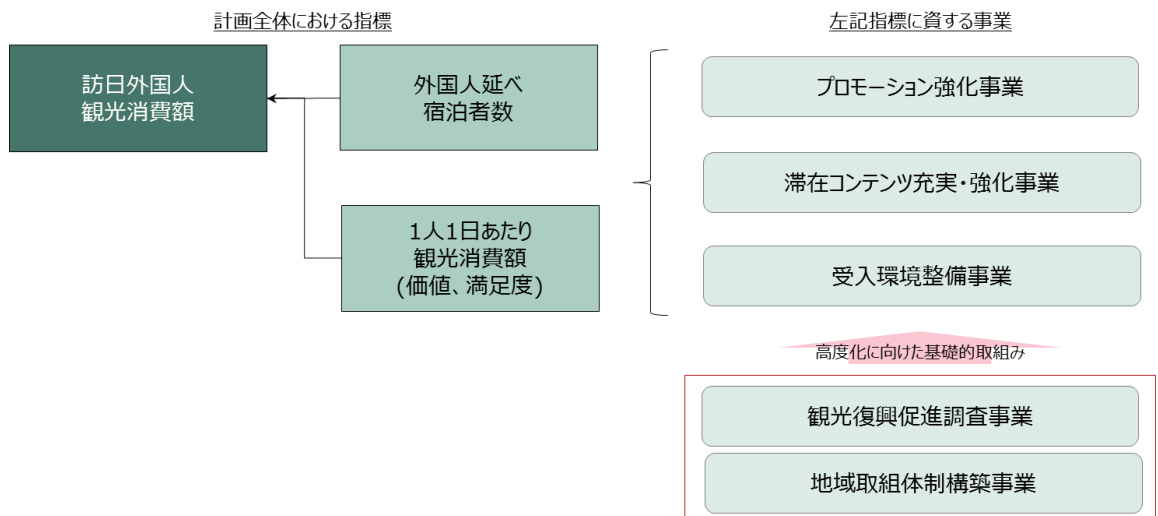
2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
15.6	19.7	24.8	31.4	39.6	50.0	50.0

② 外国人旅行消費額

評価指標の設定理由：日本政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年に全国の訪日外国人旅行消費額を2015年実績の2倍超である8兆円とする目標が定められているため、この目標達成に向けて、本県も目標設定を行うもの。

目標値の設定理由：平成30年の目標値(106.0億円)に、直近過去6年(H24~H29)の「共通基準による観光客入込客統計」(観光庁)による観光消費額のうち、①外国人観光消費額と②県全体の観光消費額の平均伸び率をそれぞれ算出し、①と②を按分した数値を乗じたものを目標値として設定した。

交付対象事業との関係



Ⅲ. 計画の期間

平成 28 年度から令和 3 年度まで

IV. 計画の目標を達成するために必要な交付対象事業

1. 観光復興促進調査事業

① 必要とする理由

東日本大震災の被災沿岸地域等、これからインバウンドに取り組もうとする地域においては、コンテンツ造成や環境整備とあわせたマーケティングを実施しなければならない。

また、県内のインバウンド先進地においても、有力な観光資源を持つ地域・DMO等が主体となり、効果測定や計画の見直しのための調査を適宜行う必要がある。

② 事業概要

(1) 仙南地域広域観光推進プラン作成事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

仙南地域におけるインバウンド施策を推進するにあたり、宮城県南地域の 2 市 7 町及び関係機関とともに、インバウンドや交流人口の拡大に向けた今後の観光振興の考え方や、県・市町、民間事業者を含めた関係機関等それぞれ役割を踏まえた施策の方向性を明確にし、仙南地域への外国人旅行者等の誘客を一体となって取り組むために「(仮称) 仙南地域広域観光推進プラン」を策定する。

(2) インバウンド受入体制等調査検討業務（宮城県）（平成 29 年度 1 次）

仙台港周辺地域と仙台空港、仙台市街地及び松島などの観光地と連携した誘客方策や、外国人観光客の二次交通に関する方策を検討するなど、海の玄関口である仙台港周辺地域のインバウンド方策に関する調査検討を実施するもの。また、本事業の実施については、立地企業等が中心となって平成 29 年 4 月に新たに創設される「仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアム」(宮城県及び仙台市も参加)と連携し、より効果的、具体的な施策の取りまとめを図る。

(3) マーケティング&デジタルコンテンツプロモーション事業（東北観光推進機構・東北 6 県）（平成 29 年度 1 次）

東北観光の魅力を PR する美映像による動画を制作し、動画配信サイトを活用し、東北の認知度向上を図る。平成 28 年度に制作した「秋」と「冬」の観光 PR 動画に引き続き、平成 29 年度は「夏」を題材にした観光 PR 動画を制作する。

(4) 二次交通利用拡大マーケティング調査事業（宮城県）（平成 29 年度 2 次）

東北地方の空の玄関口である仙台空港を利用する外国人観光客の東北周遊を促進するため、昨年度実施した「仙台空港＝松島・平泉線バス運行実証実験事業」の結果を分析しながら、マーケティング調査を実施し、地域の課題等を明確にして、今後の効果的な観光復興の取り組みの基礎資料とする。

(5) マーケティング・リサーチ事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次）

DMO 圏内の 6 市 3 町それぞれの「稼ぐ力」を引き出し、地域が潤う仕組みを作るため、継続的に地域産業・観光による収益・来訪者・ニーズを調査し、6 市 3 町が持つ、強み・弱み・課題の共有と各地域に紐付く行政・観光関連団体・地域事業者及び本 DMO が担う役割を明確にする。

- (6) 東北広域マーケティング事業（東北観光推進機構・東北6県，仙台市）（平成30年度1次）
P D C Aサイクルに基づいたプロモーションや誘客促進の強化に向け，東北に来訪する訪日外国人旅行者の動向調査等のマーケティングリサーチやインバウンド施策の検証を行うとともに，データ活用による地域のマーケティング力の強化を図るための人材の育成を行う。
- (7) インバウンド「食」資源発掘・構築事業，SNS構築・受入プロモーション事業（塩竈市）
（平成28年度1次／平成29年度1次）
塩竈市におけるインバウンドの現状把握・経済効果測定を行い，インバウンド向け観光資源の発掘及び潜在能力を調査する。「松島湾ダーランド」の枠組みを活かし，調査項目において連携を図る。また，調査結果を踏まえた映像や動画を作成し，主にASEAN圏に対してWEBやSNSを活用したプロモーションを展開する。
- (8) 松島町・東松島市・平泉町二次交通対策事業（松島町，東松島市，岩手県平泉町）（平成28年度2次）
仙台空港を利用する観光客は鉄道を利用し観光地を訪問しており，特に遠方からの来訪者や外国人は大きな荷物を持参しながら不慣れた土地で鉄道の乗り換えし訪問している。言葉の不安な外国人来訪者ではなおさら不便に感じるものと考えられる。
よって観光したい目的地へ安心して荷物を預けながら周遊できるバス運行事業が必要であり，目的地へ直接行ける手軽さから更なる観光客の集客が見込める。
- (9) 白石川一目千本桜観光実態調査事業（柴田町，大河原町）（平成28年度3次／平成29年度1次／平成30年度1次）
平成28年3月に「東北6県見るもの・食べもの・買いもの100選」に観光庁から選定された白石川一目千本桜の観光地としての特性や課題を分析し，国内外における知名度アップのための観光計画と具体案を立案する。
- (10) ターゲット感度調査（名取市）（平成29年度1次）
平成28年度に実施した「みやぎ県南浜街道誘客促進事業」において地域資源が整理された。この地域資源を台湾人旅行者向けに改良してコンテンツを造成するため，台湾旅行会社を集めたモニターツアーを実施する。そして，モニターツアーに参加していただいた台湾旅行会社には引き続き「地域コンテンツ紹介事業」「地域資源改良事業」「テスト集客事業」に参加してもらう。
- (11) 蔵王町観光振興基本計画策定事業（蔵王町）（平成29年度1次）
蔵王町へのインバウンドの状況を調査，分析することで，町の長期的な観光振興等の施策の方向性を明確化し，「蔵王町観光振興基本計画」を策定する。
- (12) DMOデータ分析事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成29年度1次）
DMOのP D C Aに必要なデータ分析を実施する。

(13) 自転車走行環境調査事業（気仙沼市）（平成 30 年度 1 次）

台湾を中心としたインバウンドの拡大のため、サイクリングコースの整備検討やサイクルツーリズム推進計画の策定を進めるための交通量等に応じた整備形態の選定方法の検証を行うなど、サイクリング環境整備に向けた調査を実施する。

(14) ジャパンエコトラック認定ルートを活用したレンタサイクル&観光乗合タクシー事業可能性調査（名取市，岩沼市）（平成 30 年度 1 次）

平成 29 年度に東北運輸局直轄事業として実施した「仙台空港アクセスバス路線の訪日外国人の利便性向上実証事業」の分析の中で、接続時間 2 時間以内の仙台空港周辺周遊モデルルートに対するニーズがあることや、費用の低廉さが求められていた結果をふまえ、前年度事業で策定した仙台空港を拠点とするジャパンエコトラックルートをサイクリングプラン（健康な方向け）並びに観光乗合タクシープラン（高齢者やファミリー層向け）を策定し、訪日外国人の需要及び感度調査（モニター実証）を下期に実施する。

(15) タクシーツアーモニター調査事業（名取市，岩沼市，亶理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

平成 29 年度に造成したタクシーツアーのサービスを向上させるためモニター調査を実施する。モニター調査へ協力いただく対象者は、平成 29 年度のテスト集客時と同様に仙台空港の観光案内所や Web 等での募集を行う。モニター調査の結果はセールス部会，オペレーション部会に報告し，継続的なサービスの改善や地域内の強みを活かしたテーマツアーの造成に活用する。

③ スケジュール

事業	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
（仮称）仙南地域広域観光推進プラン作成事業（宮城県）	●————●				
インバウンド受入体制等調査検討業務（宮城県）		●————●			
マーケティング&デジタルコンテンツプロモーション事業（東北観光推進機構・東北 6 県）		●————●			
二次交通利用拡大マーケティング調査事業（宮城県）			●————●		
マーケティング・リサーチ事業（宮城県）			●————●		
東北広域マーケティング事業（東北観光推進機構・東北 6 県，仙台市）			●————●		
インバウンド「食」資源発掘・構築事業 SNS 構築・受入プロモーション事業（塩竈市）	●————●				

松島町・東松島市・平泉町二次交通対策事業（松島町，東松島市，岩手県平泉町）					
白石川一目千本桜観光実態調査事業（柴田町，大河原町）					
ターゲット感度調査（名取市）					
蔵王町観光振興基本計画策定事業（蔵王町）					
DMOデータ分析事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）					
自転車走行環境調査事業（気仙沼市）					
ジャパンエコトラック認定ルートを活用したレンタサイクル&観光乗合タクシー事業可能性調査（名取市，岩沼市）					
タクシーツアーモニター調査事業（名取市，岩沼市，亶理町，山元町）					

④ 効果の把握及び評価方法

調査結果のレポート等を作成し，今後の具体の事業実施に活かしていく。

2. 地域取組体制構築事業

① 必要とする理由

本県を代表する観光地である松島湾等、核となる観光地において、地域が一体となった取組が促進されるよう、観光地域づくりの中心となる人材の育成や、連携強化のためのイベント等の実施を進めることが必要である。

また、これまでに整備されてきた観光関連団体・組織間の役割分担や、DMOを始め組織の自走に向けた体制づくりを強化しなければならない。

② 事業概要

(1) 魅力あふれる松島湾観光創生事業（宮城県）（平成28年度1次）

松島湾エリアが今後も「選ばれる観光地」となるためには、観光事業者のみならず、松島湾エリアの地域全体の「おもてなし力」を高め、観光客の満足度を高める必要があり、人材育成に資する講座を実施する。また、松島湾エリアの3市3町（塩竈市、多賀城市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町）の連携を高めるため、3市3町の共通のテーマを題材にしたイベントを実施し、官民協同で取り組む。

(2) 仙台・松島復興観光拠点都市圏DMO創設事業（宮城県）（平成28年度3次）

DMOを創設するべく、シンポジウムや先進地視察を行うことにより地域住民・関係者の機運醸成を促すことでDMOを創設し、仙台・松島復興観光拠点都市圏形成を推進する。

(3) 復興観光拠点都市圏域DMO（宮城県）（平成29年度1次／平成30年度1次／平成31年度1次）

仙台地域、松島湾地域及び仙台空港周辺地域における行政、観光関連団体、民間事業者等で組織された検討組織によるDMO組織設立に向けた検討を行うことにより、関連団体が一体となった、地域連携DMOの立ち上げを行い、併せて、関連団体による一体的なマーケティング、ブランディング等の検討を行い、魅力的な観光地域づくりに取り組む。

(4) 仙南地域の観光を支える人材育成事業（宮城県）（平成29年度1次）

地域一体となって観光関連施策を進めるため、県南4市9町の宮城県南を中心としたインバウンド観光振興を目的に宮城県内初のDMOとして平成29年3月に設立される「宮城インバウンドDMO」と連携しながら人材育成を行う。

(5) 地域連携による石巻地域インバウンド推進事業（宮城県）（平成29年度1次）

石巻地域において、インバウンドを推進する人材の育成に向けた取組を推進するとともに、DMO設立を契機に地域の関係機関が一体となったインバウンドの推進体制を構築する。

(6) 気仙沼・南三陸インバウンド人材育成事業（宮城県）（平成29年度1次）

飲食店や宿泊業者向けに実践的な英会話講座を開催する。また、主に南三陸町で受入実績がある台湾市場に対応するため、中国語（繁体字）講座を実施する。

- (7) 観光地域づくりをリードできる人材育成事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次、／平成 30 年度 1 次）
広域観光に向けた松島湾エリアの人材を育成するため、「松島湾観光人材育成未来塾」を実施する。
- (8) 中国等を対象としたスキー誘客促進事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次）
2022 年北京オリンピックを控え、近年、中国では、スキーの潜在的ニーズが高まりつつある。これらを背景に、今後、スキー先進国である日本では訪日中国人観光客の増加が見込まれることから、県内スキー場や観光施設等を中心とした地域の取組体制構築を図る。
- (9) 二次交通利用拡大事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次）
東北地方の空の玄関口である仙台空港を利用する外国人観光客の東北周遊を促進するため、昨年度実施したマーケティング調査の結果を踏まえながら、仙台・松島復興観光拠点都市圏を中心とした県内の利用しやすい二次交通の調査・検討を行うとともに、地域課題の解決による外国人利用者の増加に向けた取組を実施し二次交通の充実を進める。
- (10) インバウンドに特化した宮城県南DMO設立とインバウンドテストマーケティング（丸森町，亘理町）※観光復興促進調査事業，プロモーション強化事業，滞在コンテンツ充実・強化事業含む（平成 28 年度 1 次）
インバウンドに特化した宮城県南DMO設立を目的とした，専門家チームの招へいやワークショップの開催，テスト的なインバウンド向け滞在コンテンツの開発等を行う。
- (11) 白石川一目千本桜観光連携体制の構築及び観光人材の育成事業（柴田町，大河原町）（平成 28 年度 3 次／平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次）
柴田町，大河原町双方で行っている桜まつりを白石川一目千本桜観光連携協議会に一本化し，組織体制を強化した中でインバウンドの誘致や広域観光の推進や観光人材の育成を図り，「東北 6 県見るもの・食べもの・買いもの 100 選」に選定された白石川一目千本桜を中心とした観光マネジメント力を強化する。
- (12) ジャパンエコトラック地域協議会設立事業（名取市，岩沼市）（平成 29 年度 1 次）
空港周辺地域におけるアウトドアスポーツツーリズムでの旅行者の拡大を目指し，受入体制の整備に向けて「ジャパンエコトラック登録」を行うため，広域で地域協議会を立ち上げ，エコトラック認定へ向けての盛り上がり事業継続を図るための組織づくりを図る。
- (13) インバウンド部会設置・運用（名取市，岩沼市）（平成 29 年度 1 次）
台湾人集客を目指して地域の民間事業者と行政が一体となり，台湾人旅行客を獲得するためのインバウンド部会を立ち上げる。
- (14) 協議会ワーキンググループ運営事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿

町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 29 年度 1 次）

エリアのインバウンドビジョンを策定する組織として設立された，宮城インバウンド DMO 推進協議会の下に設置される「交通」「宿泊」「イベント」「ツアー造成」及び「プロモーション」の 5 つの部会を運営し，ビジョン策定のためのプロジェクトマネジメントを行う。

(15) 地域協議会アドバイザー招請事業（名取市，岩沼市）（平成 30 年度 1 次）

平成 29 年度に立ち上げた「仙台空港周辺広域観光地域協議会」において，ジャパンエコトラック名取・岩沼エリアのブランディングを促進するために総合コンセプトや各ルートのテーマやネーミングを最終協議し，地域一体となって訪日外国人観光客の誘客と地域ブランディングに取り組む体制を強化していく。成果品としてジャパンエコトラック公式ガイドブックの仕上げに向けて，アドバイザーの意見を取り入れながら事業を進めるほか，モニター調査結果の検証時にもアドバイザーに参画してもらうことで相対的な評価。効果的な検証につなげ，地域課題の解決に活かしていく。

(16) セールス部会・オペレーション部会事業（名取市，岩沼市，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

平成 29 年度に立ち上げたインバウンド部会を継続して発展させる。外国人集客を次の段階に引き上げるため，コンテンツの改善と新たなツアーの造成を行うセールス部会とツアーオペレーションの改善を図るオペレーション部会の 2 つに分けて実施する。部会では販売促進，受入れ環境及び滞在コンテンツの改善を図る。

(17) ワーキンググループ取組事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

宮城インバウンド推進 DMO 協議会の事務局業務補助を実施。平成 29 年度立ち上げた 5 つのワーキンググループに関して，今年度は「宿泊」のみを運営する。

③ スケジュール

事業	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
魅力あふれる松島湾観光創生事業（宮城県）	●	●			
仙台・松島復興観光拠点都市圏 DMO 創設事業（宮城県）		●	●		
復興観光拠点都市圏域 DMO（宮城県）		●	●	●	●
仙南地域の観光を支える人材育成事業（宮城県）		●	●		
地域連携による石巻地域インバウンド推進事業（宮城県）		●	●		
気仙沼・南三陸インバウンド人材育成事業（宮城県）		●	●		

観光地域づくりをリードできる人材育成事業（宮城県）		●	—————	●		
中国等を対象としたスキー誘客促進事業（宮城県）				●	—————	●
二次交通利用拡大事業（宮城県）				●	—————	●
インバウンドに特化した宮城県南DMO設立とインバウンドテストマーケティング（丸森町，亶理町）	●	—————	●			
白石川一目千本桜観光連携体制の構築及び観光人材の育成事業（柴田町，大河原町）		●	—————	●		
ジャパンエコトラック地域協議会設立事業（名取市，岩沼市）		●	—————	●		
インバウンド部会設置・運用（名取市，岩沼市）		●	—————	●		
協議会ワーキンググループ運営事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）		●	—————	●		
地域協議会アドバイザー招請事業（名取市，岩沼市）				●	—————	●
セールス部会・オペレーション部会事業（名取市，岩沼市，亶理町，山元町）				●	—————	●
ワーキンググループ取組事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）				●	—————	●

④ 効果の把握及び評価方法

地域の「おもてなし力」を高めることで、満足度の向上・リピーターの増加を図り、本計画の目標とする外国人延べ宿泊者数及び訪日外国人観光消費額の増加を目指す。

また、人材育成の講座においては、受講生へのアンケート等の実施により、改善点や要望事項を把握し、次年度以降の事業改善に結びつける。

3. プロモーション強化事業

① 必要とする理由

本県の外国人からの認知度は未だ低く、一般消費者に対しては、海外イベントへの出展による直接的なPRのほか、メディアやSNSの活用等を通じて、観光地としての認知度向上に向けた取組を継続する必要がある。

また、現地エージェント招聘事業の実施等により、旅行関係者に本県の観光資源や具体的な旅行行程のイメージを持ってもらい、旅行商品造成を支援する。

プロモーションの実施にあたっては、対象市場の特徴をふまえて、特定目的旅行（SIT）に着目した取組を含めた効果的な事業内容を展開する。

また、東北観光推進機構や、外国人観光客の行き来が多い他県等と連携したプロモーションを行うことで、単県のみではなく、東北地方としての広域的な情報発信を図る。

② 事業概要

(1) 外国人観光客災害復興緊急誘致促進事業（誘客緊急促進事業）（宮城県）（平成28年度1次）

日本政府が実施する風評払拭のための現地プロモーション事業（中国・韓国・香港）を活用し当県現地事務所（ソウル・大連）と連携したイメージアップのための情報発信を行う。また、風評の影響が非常に強い韓国・香港市場等では、「日本政府と連携した風評払拭事業」と連動してプロモーションできるPRツール等製作、SIT(特定目的旅行)に着目した招請を行い、旅行商品造成を支援する。

(2) 空港機能を活用した国外プロモーション活動等事業（宮城県）（平成28年度1次）

海外の観光公社や旅行業協会協力のもと、北海道・東北新幹線開業に合わせ、函館・仙台双方の空港を活用した東北観光旅行商品の造成を図る。更に、「宮城県を訪れること」が主目的となる外国人旅行者の増加を促すため、宮城が舞台となっている「アニメコンテンツ」や宮城で楽しむ「スポーツ」を付加した新たな観光資源を旅行商品として提供できるような取組を実施する。

(3) 外国人観光客誘致促進事業（宮城県）（平成28年度1次）

台湾の企業及び日系企業への個別訪問や国際旅行博の機会を活かしたプロモーション活動、企業福利厚生担当者等の招請事業を実施するほか、台湾におけるメディアミックスによる一般消費者向けの情報発信を行う。

(4) マスメディア等を活用したインバウンド強化事業（宮城県）（平成28年度1次）

海外（友好州等）マスメディアを招致し、宮城県の観光地を取材する機会を提供することで、海外での情報発信の機会を増大させ、外国人観光客を増加させる。

特に台湾市場については、東日本大震災における台湾からの多大な復興支援に感謝を表明するとともに、本県をPRし台湾からの観光客を誘致するため、日本側のテレビ局及び台湾側のテレビ局と共同で、台湾等からの支援により復興した宮城の魅力をPRするテレビ番組を制作し、台湾のテレビ局及び日本のテレビ局で放送する。

台湾に加えて、日本の食や食文化に強い関心があるシンガポール、香港等をターゲットに、現地の

メディアを活用した宮城訪問キャンペーンを実施するほか、クーポン発行などのインセンティブ付与による誘導促進と消費促進を図るとともに、飲食店情報をウェブサイト等において外国語で発信する多言語化を推進することで、受入環境の向上を図る。

また、外国人が海外を訪問するきっかけを得たり個人で旅行する際は、インターネットから情報を収集することが多いという調査結果を受け、外国人の目を引く素材等を作成するため、紹介する場所や内容についてはネイティブスタッフの目線にこだわり、ネット上で英語による情報発信等を行う。

(5) 旅行会社及び航空会社と連携した香港等観光客誘致事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次／平成 29 年度 1 次）

香港等から仙台空港への直行便就航及び香港人宿泊者数の回復を目指し、旅行会社及び航空会社へプロモーション事業を委託する等の方法により、国際路線の就航及び観光客数の回復を図る。

(6) 留学生協働事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

県内在住の留学生に対し、県内視察ツアーの機会を提供することにより、本県の魅力の理解や愛着形成の促進を図るとともに、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等を用いて宮城県の魅力等を海外に積極的に発信してもらう。あわせて、外国人としての視点での本県の魅力の発掘や課題の洗い出しのため、参加した留学生による意見交換会を実施する。

また、協力していただく留学生を「みやぎ留学生絆大使（仮称）」に任命し、宮城県の魅力等の情報を母国で継続的に紹介、発信してもらう。

(7) 航空キャリア・旅行会社とのタイアップ事業（東北観光推進機構、東北 6 県）（平成 28 年度 1 次／平成 29 年度 1 次）

東北観光推進機構、東北 6 県が連携し、東アジア近隣諸国の航空キャリア及び航空キャリアの関連旅行会社を招請し、国際線の受入可能な空港を視察してもらうとともに、定期便の就航・拡充及びチャーター便の就航に商談会を開催する。更に、就航の可能性がある航空キャリアに対して、機内誌に出稿する等のインセンティブを用意する。

(8) デジタルコンテンツ・プロモーション事業（東北観光推進機構、東北 6 県）（平成 28 年度 1 次）

欧州、米国、豪州、ASEAN等の広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」がターゲットとする市場に向けて、同じルートの周遊を促進する感動映像、各県の魅力を深掘りした映像を制作し、東北観光の認知度拡大を図るとともに、潜在的な想定顧客データを収集する。2年目、3年目には、マーケティングデータに基づき Web による旅行商品申し込みの実施等を行う。

(9) 首都圏在住留学生モニターツアー（宮城県、山形県）（平成 28 年度 1 次／平成 29 年度 1 次）

首都圏の留学生を対象とした、両県観光地のモニターツアーを実施し、SNS等での情報発信による観光誘客の促進を図る。

- (10) 台湾テレビドラマロケ誘致事業（宮城県，岩手県）（平成 28 年度 1 次）
親日であり東日本大震災以降本県との関係が深くなっている台湾からの観光客を本県及び岩手県へ誘致するため，台湾で人気の高いテレビドラマのロケ地を誘致し，テレビドラマの視聴者である多くの台湾の方々に本県及び岩手県の魅力を知ってもらい，観光客誘致につなげる。
- (11) 冬の東北とスノーコンテンツ発信事業（東北観光推進機構，東北 6 県）（平成 28 年度 2 次）
スキー場や冬（雪）祭り，その他スノーアクティビティ情報に加え，冬（雪）に関連する地域行事（風習）の情報を収集し，冬の東北観光コンテンツとしてデータベース化する。その成果を踏まえて，受入体制整備を促進し着地素材として商品化を図り，海外に向けてプロモーションを展開し，冬の東北のブランド化を図る。
- (12) 多言語対応アイラブオオサキ動画制作・発信事業（宮城県）（平成 28 年度 3 次）
大崎地域の各市町の観光情報を広く海外に発信するバーチャルトリップサイト「アイラブオオサキ」について，大崎地域の観光の魅力を PR する動画の春・夏バージョンを制作し，年間を通しての大崎地域の魅力を発信する。
- (13) 首都圏及び北海道からの訪日外国人旅行者誘客促進事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次）
首都圏や北海道から本県を訪れる外国人旅行者の誘客を拡大するため，着地型旅行商品を造成するとともに，欧米豪に向けて本県観光の魅力を PR する動画を制作し，動画配信サイトで情報発信する。
- (14) ミシュランガイド宮城版の Web による情報発信事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次）
国内外の外国人旅行者に親しまれているミシュランガイドの WEB 版を制作し，県内の飲食店と観光スポットを情報発信し，認知度の向上を図る。
- (15) 仙台空港を利用する訪日外国人旅行者誘客促進事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次）
仙台空港を利用する外国人旅行者の誘客拡大のため，LCC 航空会社と連携し，WEB サイト等による情報発信を行う。
- (16) 中国を対象とする訪日外国人旅行者誘客促進事業委託業務（宮城県）（平成 29 年度 1 次）
中国からの外国人旅行者の誘客拡大のため，本県を舞台とした中国向けドラマを制作し，ネット配信等により情報発信し，本県観光の認知度拡大を図るとともに，本県観光地を周遊する旅行商品を造成する。
- (17) レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業（東北観光推進機構，東北 6 県）（平成 29 年度 1 次）
台湾，香港，シンガポール等ドライブ周遊観光に一定の需要が見込まれるマーケットに向けて，「Tohoku Expressway Pass」等の各種ツールを活用するとともに，広域観光周遊ルート促進事業等の他事業も組み合わせパッケージとして広告展開を行う。

(18) 韓国旅行会社等招請（宮城県、山形県）（平成 29 年度 1 次）

原発事故による風評の影響が根強い韓国から現地旅行会社・メディアを招請し、宮城県及び山形県の観光の魅力と安全性を体験のうえ情報発信してもらうとともに、旅行商品の造成を行う。

(19) 中国を対象としたスキー誘客促進事業（宮城県）（平成 29 年度 2 次）

2022 年の冬期オリンピックを念頭に、近年、中国で人気が高まっているスキーにスポットを当て、スキークラブ経営者、Weibo ブロガー、人民網や TV 局等のメディア関係者等の招請を実施する。招請に当たっては、本県のスキー場等の認知度向上を目的に、スキー場や宿泊施設、温泉施設、観光地等を紹介する番組を制作し、テレビや web 上で配信する。あわせて、旅行会社と連携し、制作した番組のロケ地等を含む旅行商品を造成し、本県への中国からの誘客を促進する。

(20) 南東北連携タイ向け観光情報発信事業（宮城県、山形県、福島県）（平成 29 年度 2 次／平成 30 年度 1 次）

タイからの訪日旅行者は日本全体で増加傾向にあり、東北は全国の伸び率以上に増加しているものの、数に着目すると東北各県とも十分に旅行者を取り込めておらず、今後の伸びに期待できる市場である。

東北はタイからの直行便がなく、日本の他観光地に比較し、知名度が低いことから、現地で人気の著名人等の活用によるメディア戦略を核とした情報発信を強化することにより、タイから南東北への周遊観光の促進を図るもの。

(21) 欧米豪富裕層ダイレクトアプローチ事業（宮城県、岩手県、広島県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

欧米豪富裕層向け戦略的マーケティングで明確にしたターゲットに対し、観光コンテンツとともに沿岸被災地等の復旧情報を発信することで、風評被害の払拭を図る。また、海外エージェンシー等招請の際にも、沿岸被災地等を中心とした体験コンテンツ等の紹介を通じて本県の復旧状況を発信し、風評被害の払拭につなげる。

(22) 香港等観光客誘客促進事業（宮城県、仙台市）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

香港市場の旅行形態の傾向を踏まえて、東京や大阪、京都などいわゆるゴールデンルート等、訪日経験のあるリピーター（主に F I T）を主なターゲットに、現地において効果的な手法により本県観光の P R を行い、本県を次の旅行先として訴求することにより本県への旅行需要の創出に取り組む。

(23) 韓国情報発信誘客促進事業（宮城県、山形県）（平成 30 年度 1 次、平成 31 年度 1 次）

山形県単独で平成 29 年度に実施したプロモーションで大きな効果があったことから、これを踏襲し、宮城県と連携したテレビ番組の誘致・放送を行うものとする。また、テレビ番組のロケ地巡りする旅行商品を販売することで、テレビ番組のプロモーション効果を最大限活用し、旅行商品販売につなげる。

(24) 中国情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

OTA 向け商品化を見込んだワークショップを実施し，作成したモデルコースで実際に FAM ツアーを実施して商品化する。また，ワークショップや FAM ツアーの内容を「攻略」としてまとめ，OTA サイトの本事業用専用ページに商品と併せて掲載する。

(25) 香港情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

香港で発行される旅行ガイドブックに宮城・山形の特集記事などの情報を掲載するガイドブックを作成し，販売する。また，著名人等を活用し，宮城県・山形県を巡る旅番組を制作・放送する。さらには団体旅行に強みのある有力旅行社とタイアップし，番組で放送された観光地を巡るツアーを販売する。ガイドブック・TV 番組と連動する形で香港での有力 OTA サイト上に特設コーナーを制作し，宮城県・山形県の宿泊施設・旅行商品を集中販売する。

(26) デジタルコンテンツを活用した誘客促進事業（東北観光推進機構，東北 6 県，仙台市）

（平成 30 年度 1 次）

米国，欧州，豪州，東アジア，ASEAN 等のこれまでの対象市場へのプロモーションを継続するとともに，新たに最大の訪日旅行市場である中国を追加し，前年度業務等で作成した特設サイト・PR 動画・画像を活用し，東北への誘客を図る。

(27) ソーシャルメディア等を活用した誘客促進事業（東北観光推進機構，東北 6 県）（平成 30 年度 1 次）

ソーシャルメディア等における口コミ数を増加させるため，対象市場の旅行者に対して口コミ投稿型サイトへの口コミ投稿を促進する取組を実施する。並行して，観光スポットや観光施設等に対して口コミ収集の機運醸成及び口コミ投稿型サイトへの基本情報の登録促進を働きかけ，旅行者が口コミを投稿しやすい環境を整備する。

(28) 旅行会社等と連携した誘客促進事業（東北観光推進機構，東北 6 県，仙台市）（平成 30 年度 1 次）

これまでの広域連携事業において関係を構築した旅行会社に対して，現地旅行会社の店舗を活用した情報発信，ガイドブックの作成・配付及び共同広告等を通じたプロモーションを実施することで，旅行商品造成及び販売の促進による誘客を図る。

(29) 映画・テレビドラマを活用したタイ・中国誘客事業（宮城県，山形県，仙台市）（平成 30 年度 2 次）

宮城県，仙台市及び山形県を舞台に相次いでタイ及び中国の映画及びテレビドラマが撮影・公開されることを契機に，映画・テレビドラマをフックとした情報発信により，両地域の認知度向上及び旅行需要の喚起を図るとともに，ロケ地や周辺観光地を巡る商品の造成・販売により旅行者の取り込みを目指す。

(30) SAKE ツーリズム情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県）（平成 30 年度 2 次）

IWC（International Wine Challenge）の SAKE 部門が山形県で開催されたことを契機に，両県が

有する美酒をキーワードに、新酒の時期に合わせ、酒蔵等（酒蔵、ワイナリー、ウイスキー醸造所）を巡るPR動画を作成しSNS等での情報発信を行うとともに、酒蔵等と温泉などの地域資源を組み合わせたSAKEツーリズムの商品造成・販売プロモーションを展開し、インバウンドの拡大を図る。

(31) 国際線利用者等へのプロモーション事業（宮城県、岩手県）（平成30年度2次）

2019年ラグビーワールドカップ等における宮城県への誘客を目指すため、航空会社と連携し、ファーストクラスやビジネスクラス等の利用者や訪日旅行予約層をターゲットとしたデジタルマーケティングを実施する。

(32) 韓国向けデジタルプロモーション事業（宮城県）（平成30年度2次）

宮城オルレのオープンを契機に、実際に訪れる可能性の高いオルレ関心層に向けて、宮城の観光素材も併せた情報をプロモーションし、オルレ以外の本県観光地も広く周遊してもらうよう興味を喚起させ、韓国からのインバウンド増加を図る。また新たに登米、塩竈のコース承認を目指す。

(33) デジタルマーケティング推進事業（宮城県、岩手県）（平成31年度1次）

欧米豪、台湾、中国、香港、韓国、タイ及びムスリム等をターゲットにデジタルマーケティングを展開するとともに、継続的なデータの収集・分析を行うことで、ターゲットの明確化や最適化等を進め、更なる誘客を図る。

(34) 映像などを活用した東北の魅力発信事業（東北観光推進機構、東北6県）（平成31年度1次）

東北の認知度の向上を図るため、過年度事業の成果である四季動画の活用と並行し、四季に依らないテーマ別動画を新たに制作し、それらを活用した情報発信を実施する。

(35) 「TOHOKU」の観光復興の継続的発信による誘客促進事業（東北観光推進機構、東北6県、仙台市）（平成31年度1次）

2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピックが開催されることを機に幅広い層に対する東北の認知度向上や東北の冬のブランド化を促進するとともに、東北全体で訪日外国人観光客、選手、観客を歓迎する機運を醸成し、また、東北の現状について正確な情報発信を行うことにより、依然として残る風評・不安の払拭を図る。

(36) 口コミ投稿を活用した誘客促進事業（東北観光推進機構、東北6県、仙台市）（平成31年度1次）

観光スポットを中心とした観光関係事業者を対象に、トリップアドバイザーへの管理者登録及び積極的な口コミ収集を促進させる取組を実施するとともに、旅行者の口コミ投稿を促進させる取組を実施し、外国人旅行者の旅行先決定に大きな影響力を持つ口コミ投稿を増加させ、東北の認知度向上と口コミ投稿の活用による誘客促進を図る。

(37) 訪日富裕層を対象とした魅力ある東北発信誘客事業（東北観光推進機構、東北6県、仙台市）（平成31年度1次）

富裕層をターゲットとして、質の高いコンテンツやユニークベニューなどを分析・選定した上で、情報発信を強化するとともに、旅行博への出展やモデルコースの開発、旅行商品造成の支援等により、海外富裕層に対する「プレミアムな東北」の認知度の向上や誘客促進を図る。

(38) 中国からのスキー・教育旅行誘客促進事業（宮城県，山形県，福島県）（平成31年度1次）

南東北3県で連携し、「スキー」をテーマに現地BtoBtoCセミナー及びFAMツアー、「訪日教育旅行」をテーマに個別意見交換会及びFAMツアーを実施する。また、南東北3県のスキー関係者等を対象に国内先進地事例セミナーや研修会を開催し、受入環境整備を促進する。

(39) 東京2020オリンピック・パラリンピック来訪者への東北誘客情報発信事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）（令和元年度2次）

2020東京オリンピック・パラリンピック大会期間中に訪日を予定している外国人をターゲットに東北の魅力伝えるサイトや旅行商品サイトへの誘引を図り、東北への誘客を促進する。また、東北・東京間のフリーパスなどの移動にかかる情報も発信し、東京からの交通の利便性を訴求する。

(40) オリ・パラを契機としたプロモーション事業（宮城県）（令和2年度1次）

東京オリンピック・パラリンピック大会期間中に首都圏で開催されるイベント等へブース出展，オリンピックメディア等によるFAMトリップなどのPR，海外エージェンシー等を通じ，東京オリンピック・パラリンピック大会期間を中心に海外旅行者に向けた直接的なプロモーションを展開する。

(41) 航空会社と連携した夏期の体験型商品造成事業（東北6県，仙台市，塩竈市，登米市，大崎市，松島町，東北観光推進機構）（令和2年度1次）

東京オリ・パラ開催期間の仙台-バンコク線利用促進に向けた販売可能な体験型・滞在型旅行商品の造成に取り組む。また，造成した旅行商品の販路としてタイ国際航空（TG）と共同し，同社のウェブサイト等での旅行商品の販売を行う。※新型コロナウイルスの感染拡大で取り止め。

(42) 仙台空港活用誘客促進事業（宮城県，山形県）（令和2年度1次）

東京オリ・パラ時期にOTAサイトに「宮城・山形専用ページ」を開設し，旅行商品を販売し，また，現地旅行会社やメディア・KOLを招請し，専用ページに掲載する商品造成などを図る。

(43) 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした総合プロモーション事業～東京オリパラ期間を中心としたプロモーション（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）（令和2年度1次）

東京オリパラを契機とし，JNTOの「2020年特別キャンペーン」や観光庁の「東北観光キャンペーン」，また「東北ハウス」と連携したプロモーションに加え，過年度交付金事業のレガシーとビッグデータを組み合わせたプロモーション等を展開する。

(44) 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした総合プロモーション事業～東京オリパラ以降の継続誘客を見据えた事業者向けプロモーション～（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）

(令和 2 年度 1 次)

観光庁「東北観光キャンペーン」等と連携し、東北の強みである雪などのコンテンツをフックとしたプロモーションを教育旅行関係者やアジアの旅行会社等に向けて多角的に展開する。

- (45) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした総合プロモーション事業～東京オリパラ以降の継続誘客を見据えた消費者向けプロモーション～（東北観光推進機構，東北 6 県，仙台市）

(令和 2 年度 1 次)

風評被害の払拭を目的とした太平洋沿岸地域の魅力発信の継続実施や、東京五輪・パラリンピックを契機とした訪日メディアへの情報発信、海外での一般消費者向けイベント等を多角的に展開する。

- (46) 海外富裕層旅行者の誘客促進事業（東北観光推進機構，東北 6 県，仙台市）(令和 2 年度 1 次)

海外富裕層旅行者の「セカンドデスティネーション」としての認知度向上に向けたセールス活動や、富裕層向け旅行会社における商品造成の支援などに取り組む。

- (47) 仙台空港国際定期路線 V 字回復事業（宮城県）(令和 2 年度 1 次)

新型コロナウイルスにより全便運休となっている仙台空港国際定期路線の運航再開にあわせて、航空会社と連携したオンライン広告等により路線利用を促し、運航再開を後押しすることでインバウンドの V 字回復を目指す。

- (48) 香港現地企業を活用した情報発信事業（宮城県）(令和 2 年度 1 次)

香港からの訪日外国人延べ宿泊者数は、いまだ東日本大震災前の水準まで回復していないことから、新型コロナウイルスの影響によるインバウンドの減少を抑制し、現地から継続的に情報発信に努めることで収束後の訪日需要の回復期を逸することなく誘客を図る。※新型コロナウイルスの感染拡大で取り止め。

- (49) 東京オリパラ期間における東北の誘客促進及び情報発信事業（東北観光推進機構，東北 6 県，仙台市）(令和 2 年度 2 次)

東京オリパラ及び東北デスティネーションキャンペーンの開催期間中の誘客を図るため、観光コンテンツの多言語情報の発信体勢を強化するとともに、オリパラ開催期間中に東京都内でオフラインでのプロモーションを実施する。また、開催期間後も海外に向けた情報発信を継続して行う。

- (50) 環蔵王関係市町連携台湾プロモーション事業（白石市，蔵王町，山形県山形市，山形県上山市）
(平成 28 年度 1 次／平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次)

広域観光周遊ルート「日本の奥の院・東北探訪ルート」形成計画広域観光拠点地区「蔵王・山寺」を構成する 4 団体連携し、台湾で開催される「東北プロモーション in 台湾」にブース出展を行う。

- (51) インバウンド及び観光ツアー客を呼び込むためのプロモーション活動事業（柴田町，大河原町）
(平成 28 年度 3 次／平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次)

平成 28 年 3 月に「東北 6 県見るもの・食べもの・買いもの 100 選」に観光庁から選定された、東北を代表する花見の名所である白石川一目千本桜の魅力を多様な情報媒体を活用し情報発信するとともに、インバウンド客や観光ツアー客を呼び込むための誘致宣伝活動や住民との協働によるイベントを実施する。

(52) みちのくおとぎ街道インバウンドプロモーション事業（白石市，七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高島町）（平成 29 年度 1 次）

日本東北遊楽日に二市二町の首長等が参加し，山形・宮城の両県をつなぐみちのくおとぎ街道観光を P R する。また，現地旅行事業者やメディアへの情報提供，マーケット情報を収集し，継続的なセールス等を実施する。

(53) 県南DMO連携（名取市，岩沼市）（平成 29 年度 1 次）

名取市を含む宮城県南部 4 市 9 町を対象に，インバウンド集客においてマーケティング・マネジメント事業を担う県南DMOが組織された。本事業の成果をプロモートする役割を県南DMOに担ってもらい，本事業ではコンテンツの造成に集中する。

(54) 県際 4 市町によるインバウンド誘客情報発信事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）（平成 29 年度 1 次）

県際 4 市町において，更なるインバウンド誘客を目指すためには，世界遺産「平泉」を中心とした周辺観光地の情報や魅力を最大限に情報発信していく取り組みが重要であり，「ツーリズム EXPO ジャパン 2017」に出展し，当地域の観光の情報や魅力を最大限に情報発信する。

(55) 県際 4 市町による台湾市場開拓事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）（平成 29 年度 1 次）

平成 28 年 6 月からの L C C 航空会社タイガーエア台湾による仙台空港への新規就航により，今後の入込拡大が期待される台湾からの観光客誘致を図るため，I T F（台北国際旅行博）2017 にブース出展し，当地域の観光の情報や魅力について P R を行い，当地域をコースに組み込んだ旅行商品の企画造成や観光客誘致を促進する。

(56) 「東北アンバサダークラブ」を活用したインバウンド推進事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）（平成 29 年度 1 次）

東北在住の留学生をメンバーとする「東北留学生アンバサダークラブ（160 名規模）」を活用し，平成 28 年度東北観光復興対策交付金事業で導入した「多言語音声対応ガイドブック・音声ガイドペン」を用いてモニターツアー等を行う。実際に留学生が見て，触れて，感じて，評価と改善を図るとともに，アジア圏，特に台湾をターゲットとし，外国人の視点で 4 市町連携地域の旅行商品を造成・販売を推進する。また，ソーシャルメディアを活用し，留学生の出身国を含む全世界へ観光資源の魅力を強く発信していくとともに国内外の商談会へつなげ，周遊や誘客を図る。

(57) 海外営業活動（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次）

海外で開催される海外旅行博覧会，旅行業者への直接営業において，ツアーやコンテンツの販売及びプロモーション活動を行う。また，それに必要な資料の作成ならびにそれにかかる事業を行う。

(58) ファムツアー事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 29 年度 1 次）

外国人への訴求力が強いブロガーを招き，2 泊 3 日のツアーを行う。ブロガーは日本に関するコンテンツを取り扱う方を選定し，タイ・台湾それぞれ 3 回の実施を計画する。

(59) WEB・メディアプロモーション事（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 29 年度 1 次）

デジタルプロモーション（WEB メディアプロモーション，OwendWEB メディアプロモーション，SNS プロモーション），・カタログプロモーション（展開目的を明確にした必要最小限の紙媒体の作成）
・コンテンツプロモーション（海外メディア）テレビなど，効果が期待される媒体を活用したプロモーションを行う。

(60) 環蔵王関係市町連携インバウンドプロモーション事業（白石市，蔵王町，山形県山形市，山形県上山市）（平成 30 年度 1 次）

外国人観光客への PR 効果を高めるため，クロスメディアプロモーションを実施し，環蔵王エリアの魅力を発信する。メールでの問い合わせには外国語で対応する体制も整える。また，ランドオペレーションが可能な民間企業とタイアップし，白石・蔵王における春夏秋冬に合わせた 4 つの 1 泊 2 日程度のインバウンド向けプランを作り，海外旅行代理店のファムトリップを実施して検証する。

(61) 宮城インバウンドDMOと共同したOTA推進事業（名取市，岩沼市，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

平成 29 年度のテスト集客により作り上げたコンテンツを旅前の旅行客へ PR するため，宮城インバウンドDMOとの共同により，OTA企業と連携した販売促進キャンペーンを実施する。これをOTA企業との継続的な連携につなげるための最初のステップとする。

(62) 宮城インバウンドDMOと共同したツアー販売促進事業（名取市，岩沼市，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

造成したツアーを販売するため，宮城インバウンドDMOとの共同によりツアーガイドブック等を製作し，国内外の旅行代理店との協業施策を実施する。

(63) 台湾観光プロモーション事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）（平成 30 年度 1 次）

東北観光推進機構等が主催する日本東北六県感謝祭にブース出展し，東北地域での観光の魅力を最大限に情報発信しながら，世界遺産「平泉」を中心とした周辺観光地の情報や魅力についても情報発

信して相乗効果を狙うとともに、当地域をコースに組み込んだ旅行商品の企画造成や観光客誘致を促進する。

- (64) 台湾・香港観光客向け魅力発信事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，平泉町）（平成 30 年度 1 次）
 県際 4 市町において、更なるインバウンド誘客を目指すため、東北の外国人宿泊者の約 3 割を占めている台湾及び香港人観光客の誘客拡大に向け、世界遺産「平泉」を中心とした周辺観光地の観光の情報や魅力を最大限に情報発信するため、パンフレットの作成及び配布，PR 映像の作成，ホームページ等（ランディングページ）の開設を行なう。

- (65) 栗駒山麓インバウンド推進事業（栗原市，秋田県湯沢市，東成瀬村，岩手県一関市）
 （平成 30 年度 1 次）
 岩手・宮城・秋田の三県にまたがる栗駒山及び周辺エリアの魅力を海外に向けて発信するため、多言語パンフレットを作成するとともに海外のメディア等を招聘する。また、エリア内の魅力を満喫し周遊できるようモデルコースを作成し、モデルコースを掲載したセールスシートを作成する。さらに、旅行会社を招聘するなど、旅行商品の造成を目指す。

- (66) OneZao インバウンドプロモーション事業（6 市町連携分）（白石市，川崎町，蔵王町，七ヶ宿町，山形県山形市，山形県上山市）（平成 31 年度 1 次／令和 2 年度 1 次）
 蔵王連峰を囲む 6 市町が連携し、「蔵王（ZAO）」をキーコンテンツに各市町の魅力ある滞在コンテンツを結びつけ、多様な旅行商品造成の促進と FIT・GIT に向けた統一したプロモーションを進め、訪日外国人の宿泊増と滞在コンテンツの充実も併せて行う。

- (67) 白石川堤一目千本桜インバウンド FIT 及びツアー誘客プロモーション強化事業（大河原町，柴田町）
 （平成 31 年度 1 次）
 インバウンドの個人客や団体観光ツアー客を呼び込むため、宮城インバウンドDMO，日本政府観光局等関係機関が行うプロモーション活動へ参加するとともに、ウェブメディアを活用した誘客プロモーション活動や現地での商談会等を展開する。

- (68) メインターゲット（台湾・中国・タイ）への BtoB セールスコール事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）
 （平成 31 年度 1 次）
 メインターゲット（台湾・中国・タイ）に向けて、より高品質・持続可能な教育・スポーツ・グリーンツーリズム等のテーマ型ツアーの営業商材作成及び販売を行う。また広域連携によるタイの未訪日層向けの営業商材作成及び販売を行う。

③ スケジュール

事業	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
----	----------	----------	----------	-------	---------	---------

外国人観光客災害復興緊急誘致促進事業（誘客緊急促進事業）（宮城県）	●————●					
空港機能を活用した国外プロモーション活動等事業（宮城県）	●————●					
外国人観光客誘致促進事業（宮城県）	●————●					
マスメディア等を活用したインバウンド強化事業（宮城県）	●————●					
旅行会社及び航空会社と連携した香港等観光客誘致事業（宮城県）	●————●					
留学生協働事業（宮城県）	●————●					
航空キャリア・旅行会社とのタイアップ事業（東北観光推進機構，東北6県）	●————●					
デジタルコンテンツ・プロモーション事業（東北観光推進機構，東北6県）	●————●					
首都圏在住留学生モニターツアー（台湾・ASEAN）（宮城県，山形県）	●————●					
台湾テレビドラマロケ誘致事業（宮城県，岩手県）	●————●					
冬の東北とスノーコンテンツ発信事業（東北観光推進機構，東北6県）	●——●					
多言語対応イラブオオサキ動画制作・発信事業（宮城県）	●——●					
首都圏及び北海道からの訪日外国人旅行者誘客促進事業（宮城県）	●————●					
ミシュランガイド宮城版の Web による情報発信事業（宮城県）	●————●					
仙台空港を利用する訪日外国人旅行者誘客促進事業（宮城県）	●————●					
中国を対象とする訪日外国人旅行者誘客促進事業委託業務（宮城県）	●————●					
レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業（東北観光推進機構，東北6県）	●————●					
韓国旅行会社等招請（宮城県，山形県）	●————●					
中国を対象としたスキー誘客促進事業（宮城県）	●————●					

南東北連携タイ向け観光情報発信事業（宮城県，山形県）					
欧米豪富裕層ダイレクトアプローチ事業（宮城県）					
香港等からの観光客誘客促進事業（宮城県，仙台市）					
韓国情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県）					
中国情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県）					
香港情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県）					
デジタルコンテンツを活用した誘客促進事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）					
ソーシャルメディア等を活用した誘客促進事業（東北観光推進機構，東北6県）					
旅行会社等と連携した誘客促進事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）					
映画・テレビドラマを活用したタイ・中国誘客事業（宮城県，山形県，仙台市）					
SAKE ツーリズム情報発信誘客促進事業（宮城県，山形県，仙台市）					
国際線利用者等へのプロモーション事業（宮城県，岩手県）					
韓国向けデジタルプロモーション事業（宮城県）					
デジタルマーケティング推進事業（宮城県，岩手県）					
映像などを活用した東北の魅力発信事業（東北観光推進機構，東北6県）					
「TOHOKU」の観光復興の継続的発信による誘客促進事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）					

ロコミ投稿を活用した誘客促進事業 (東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)						
訪日富裕層を対象とした魅力ある東北発信誘客事業 (東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)						
中国からのスキー・教育旅行誘客促進事業 (宮城県, 山形県, 福島県)						
東京 2020 オリンピック・パラリンピック来訪者への東北誘客情報発信事業 (東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)						
オリ・パラを契機としたプロモーション事業 (宮城県)						
航空会社と連携した夏期の体験型商品造成事業 (東北6県, 仙台市, 塩竈市, 登米市, 大崎市, 松島町, 東北観光推進機構)					取り止め	
仙台空港活用誘客促進事業 (宮城県, 山形県)						
東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした総合プロモーション事業～東京オリパラ期間を中心としたプロモーション (東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)						
東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした総合プロモーション事業～東京オリパラ以降の継続誘客を見据えた事業者向けプロモーション～ (東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)						
東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした総合プロモーション事業～東京オリパラ以降の継続誘客を見据えた消費者向けプロモーション～ (東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)						

海外富裕層旅行者の誘客促進事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）									
仙台空港国際定期路線 V 字回復事業（宮城県）									
香港現地企業を活用した情報発信事業（宮城県）									取り止め
東京オリパラ期間における東北の誘客促進及び情報発信事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）									
環蔵王関係市町連携台湾プロモーション事業（白石市，蔵王町，山形県山形市，山形県上山市）									
インバウンド及び観光ツアー客を呼び込むためのプロモーション活動事業（柴田町，大河原町）									
みちのくおとぎ街道インバウンドプロモーション事業（白石市，七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高島町）									
県南DMO連携（名取市，岩沼市）									
県際4市町によるインバウンド誘客情報発信事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）									
県際4市町による台湾市場開拓事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）									
「東北アンバサダークラブ」を活用したインバウンド推進事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）									
海外営業活動（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）									
ファミツアー事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）									

WEB・メディアプロモーション事業 (丸森町, 白石市, 名取市, 角田市, 岩沼市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 亘理町, 山 元町)								
環蔵王関係市町連携インバウンドプ ロモーション事業 (白石市, 蔵王町, 山形県山形市, 山形県上市)								
宮城インバウンドDMOと共同した OTA推進事業 (名取市, 岩沼市, 亘 理町, 山元町)								
宮城インバウンドDMOと共同した ツアー販売促進事業 (名取市, 岩沼市, 亘理町, 山元町)								
台湾観光プロモーション事業 (登米 市, 栗原市, 岩手県一関市, 岩手県平 泉町)								
台湾・香港観光客向け魅力発信事業 (登米市, 栗原市, 岩手県一関市, 岩 手県平泉町)								
栗駒山麓インバウンド推進事業 (宮城 県栗原市, 秋田県湯沢市, 東成瀬村, 岩手県一関市)								
OneZao インバウンドプロモーション 事業 (6市町連携分) (白石市, 川崎町, 蔵王町, 七ヶ宿町, 山形県山形市, 山 形県上市)								
白石川堤一目千本桜インバウンド FIT 及びツアー誘客プロモーション 強化事業 (大河原町, 柴田町)								
メインターゲット (台湾・中国・タイ) への BtoB セールスコール事業 (丸森町, 白石市, 名取市, 角田 市, 岩沼市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大 河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 亘理町, 山元町)								

④ 効果の把握及び評価方法

イベント出展：来場者数等，メディア展開：掲載件数，媒体接触者数等

招 聘 事 業：旅行商品造成数等

4. 受入環境整備事業

① 必要な理由

多言語観光案内看板，免税一括手続きカウンター，無料 Wi-Fi 等，外国人観光客の利便性向上に資する体制を整備するため，必要な事業を実施する。設置看板から QR コードによりホームページへ誘導する等，単なるハード整備に限らず，観光情報発信に有用な取組みについて併せて実施する。

また，2019 年のラグビーワールドカップや 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて増加が見込まれる外国人旅行者の多様化するニーズに対応するため，接客対応の研修等ソフト面の受入環境整備も一体的に進める必要がある。

② 事業概要

(1) 外国人観光客災害復興緊急誘致促進事業（ショッピングツーリズム環境整備支援事業）（宮城県） （平成 28 年度 1 次）

中国本土を中心に強いニーズがある免税店について，点ではなく面としての環境整備を行う必要があることから，免税手続き一括カウンター方式の導入を促進するための初期投資の経費補助による支援制度を設ける。

(2) インバウンド誘客拡大受入環境整備事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

県内随一の観光地である松島湾エリアをモデル地区として，外国人観光客が周遊観光しやすい環境を整備するため，多言語（英語，韓国語，中国語（簡体字・繁体字））による観光案内看板の設置及びホームページの開設を行う。また，台湾などで人気のあるサイクルツーリズムを導入する。また，広域観光促進地域内において，無料公衆無線（Wi-Fi）の設置を含む「特に復興に資する先進的な外国人誘客事業を行うグループ」を対象とした支援を行う。外国人観光客を受け入れる際の注意点や接客英会話等をテーマに接遇研修を実施し，宿泊施設や飲食店等の「宿泊のしおり」や「飲食店のメニュー」等の翻訳を行う。

(3) サインの多言語化表記による訪日外国人誘致促進事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

MICE 及びその他関連事業等に使用が見込まれる県有集客施設（総合運動公園，みやぎ産業交流センター）におけるピクトグラムの使用やサイン（案内表示，標識等）の多言語化（日，英等による）表示を行うとともに，他言語翻訳システム（QR Translator/機械翻訳）を導入し，より多くの言語での案内に対応する。

(4) みやぎ Free Wi-Fi（仮称）整備事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

観光客が利用する県有施設への無料 Wi-Fi（みやぎ Free Wi-Fi（仮称））の整備を進めるとともに，共通アプリ・コンテンツの提供により一層の利便向上と情報発信力の強化に取り組む。

(5) ハラル対応食普及促進事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

ハラル対応の正しい理解の促進やハラル対応食の普及促進に向け，ホテルや飲食店，食品製造業者等を対象としたセミナーやハラル対応食材の試食会等を行うとともに，広報やガイドブックの

作製等を行う。また、ハラール対応食を供給できる体制を整備するため、ハラール認証の取得やハラール対応食の製造のための施設整備を支援する。

(6) 三陸地域広域連携インバウンド対応事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次）

三陸地域を訪れる外国人観光客が安心して旅行できる環境を整備するため、多言語観光案内板を整備する。

(7) 仙南地域アクセスガイドブック作成事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次）

平成 28 年度に作成した英語版のガイドブックをもとに、宮城県における国別宿泊者数の上位にある国である、台湾（繁体字）、中国（簡体字）、タイ（タイ語）の 3 カ国語版を作成し、仙南地域への誘客を図る。

(8) 体験型観光コンテンツ等パンフレット作成業務（宮城県）（平成 29 年度 1 次）

多様な歴史や文化を活かした体験型観光コンテンツを PR する多言語パンフレットを作成する。

(9) 韓国 S I T を対象とする誘客推進事業（宮城県）（平成 29 年度 2 次）

本県は東北随一のゴルフ場数に恵まれており、仙台空港からゴルフ場や宿泊施設までのアクセスが良いことや、「日本食」、「地酒」、「温泉」、「ショッピング」など韓国人観光客に好まれる観光資源に恵まれていることから、ゴルフとこれらの観光資源を組み合わせたツアー商品の造成・販売を促進するため、ゴルフ場や宿泊施設向けのセミナーを開催するなど、受入環境を整備する。

(10) 体験型民泊等受入整備事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

DMO 圏域において、遊休施設や古民家を活用した民泊・農産漁村体験で食にまつわる 1 次産業を観光コンテンツへ引き上げ、本 DMO 圏内の長期滞在及び周辺観光に繋げ、地域の食材および生産者が有する潜在価値を顕在化させるための基盤整備を行う。また、収益性が見込める案件についてリスティングし、ステークホルダーや民泊意向のある事業者との合意形成を進める。

(11) 情報提供プラットフォーム整備事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

DMO 圏内の観光情報を集約し、映像などサイト来訪者にとって魅力的・有益なコンテンツを備えたオウンドメディアとしてホームページを整備しアードメディアでの情報発信を随時行う。マーケティングリサーチで得られたデータを行動データの継続的な分析を実施する。平成 29 年度に構築した Web プラットフォームに事業者向け窓口も設置し、観光客と事業者を一括管理できる総合管理システムを構築し、また、各種施設のサインおよび表示類の表記方法を統一するためのガイドラインを策定する。（平成 30 年度は「Web プラットフォーム構築事業」の名称で実施。）

(12) 中国観光客受入基盤整備事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次）

近年、中国で爆発的に普及し、主流となりつつあるアリペイやウィチャットペイ等のスマートフォンアプリによるモバイル決済の対応需要が、訪日中国人観光客の中で高まっている。

このことから、訪日中国人観光客向けに必要なシステムの導入を促進し、買い物の利便性を高めるために、県内観光事業者等を対象とした普及啓発を行うもの。

(13) 訪日教育旅行誘致促進事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

台湾や中国からの訪日教育旅行誘致を目的に、先進事例や地域資源を活用した体験型の旅行を推進するためノウハウ等を学ぶセミナーの開催や学校長等の招請、観光資源の洗い出し、磨き上げをおこなうため首都圏在住の留学生モニターツアーを実施する。

(14) 小型プロペラ機の地域間周遊体制整備事業（東北 6 県，新潟県）（平成 30 年度 2 次）

欧米豪富裕層のニーズに合わせた運航が可能となる 50 席以下の小型機による新たな運行コストのシミュレーションや東北周遊ルートのシミュレーションを実施し、小型機によるデモフライトを仙台空港を拠点として仙台・東北各県間等で実施する。上記デモフライト等を通じて、事業者や投資方法等のリストアップを行う。

（平成 31 年度は「欧米豪を対象とした沿岸被災地等観光コンテンツ整備事業」に集約して実施）

(15) マーケティングリサーチ&デベロップメント事業（宮城県）（平成 31 年度 1 次）

仙台・松島観光復興拠点都市圏における「稼ぐ力」を引き出し、地域が潤う仕組みを作るため、継続的に地域産業・観光による収益・来訪者・ニーズを調査し、強み・弱み課題の共有と各地域に紐づく行政・観光関連団体・地域事業者及び現地 DMO が担う役割を明確にし、自律的に観光で「稼ぐ」地域化を図るための「デベロップメント」を推進する。

(16) 産学連携 ICT 技術を活用した滞在周遊利便性向上事業（宮城県）（平成 31 年度 1 次）

復興促進調査における旅客流動性データを用いたターゲットマーケティングと連動して、産学連携 ICT 技術を活用した手ぶら観光サービス等の滞在周遊利便性向上に取り組む。

(17) 二次交通利用拡大事業（宮城県，松島町，岩手県平泉町）（平成 31 年度 1 次，令和 2 年度 1 次）

東北地方の空の玄関口である仙台空港を利用する外国人観光客の東北周遊を促進するため、平成 30 年度の実績結果を踏まえ、着地型旅行商品の造成等による二次交通の利用促進を図ると共に情報発信も行う。令和 2 年度はタイを重点市場に取り組む（平成 30 年度は「地域取組体制構築事業」の区分で実施）※新型コロナウイルスの感染拡大で取り止め。

(18) 広域二次交通の整備及び情報のデジタル化支援事業（東北観光推進機構，東北 6 県，仙台市）
（平成 31 年度 1 次）

東北の交通情報を一元的に集約したプラットフォームを構築し、二次交通情報を提供することにより訪日外国人の利便性向上を図る。

(19) 【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】東北トラベルコンシェルジュ人材育成事業（宮城県）
（令和 2 年度 1 次）

過年度育成した観光ガイドの管理スキルの習得・向上を目指し、全行程を管理できるスペシャリストとして養成する。(令和元年度に「稼ぐ」観光地域化連携・協働事業(滞在コンテンツ充実・強化事業の中で実施した内容の一部を分割したもの)

(20) 【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】宮城酒蔵ツーリズム振興基盤強化(宮城県)

(令和2年度1次)

酒蔵のインバウンド受入環境の改善支援や、受入側地域事業者(ガイド、飲食店、宿泊施設等)への研修会開催により、酒蔵ツーリズム振興基盤を強化する。

(21) 飲食店外国語対応支援事業(宮城県)(令和2年度1次)

オリパラを機に本県を訪れる外国人観光客に、県内飲食店の多言語化対応力を向上させるように支援し、受入環境整備を促進する。

(22) 東北広域での二次交通対策事業(東北観光推進機構, 東北6県, 仙台市)(令和2年度1次)

2019年度事業で作成した二次交通プラットフォームの強化や、域内の交通事業者のインバウンド受入に係る機運の醸成等及びWeb上での交通商品販促支援を行う。

(23) デジタルマーケティング推進事業(宮城県, 岩手県)(令和2年度1次)

WEBサイト「Visit Miyagi」の各市場向けコンテンツについて、分析データ等を元に回遊性等の改善を図るとともに、コンテンツの更新等、観光地情報の多言語による発信環境を整え、またマーケティングに基づくデジタルによる広告配信と効果測定を行う。

※令和元年度はプロモーション強化事業の区分で実施。

(24) 多言語音声対応観光ガイドブック・音声ガイドペン導入事業(宮城県栗原市, 登米市, 岩手県一関市, 平泉町)(平成28年度1次)

観光ガイドブックにタッチすると観光案内の音声が出る多言語音声ガイドペンを利用し、4市町で広域的かつ魅力的に情報発信を行う。

(25) しろいし情報館デジタルサイネージ強化事業(白石市)(平成28年度1次)

宮城県や蔵王の玄関口JR東北新幹線「白石蔵王駅」構内に平成28年3月に完成した「しろいし情報館」のデジタルサイネージを強化し、PR映像コンテンツも多言語で作成する。PR映像については、観光バス車内放映やYouTubeでの情報発信も行う。

(26) 国道113号多言語誘客プロジェクト(宮城県白石市, 宮城県七ヶ宿町, 山形県南陽市, 山形県高島町)(平成28年度1次)

国道113号沿いの2市2町は、従来から「みちのくおとぎ街道」として、連携した観光PR事業を行っているが、今回多言語整備を前提とした調査・モデルプランの策定を行う。ルート上の要所サインや、ウェブページの多言語化を実施する。また、誘客を想定した台北メディアを中心に露出を強

化するほか、レンタカー活用を促すため、クーポン制度を創設する。

- (27) 白石川一目千本桜おもてなし環境強化事業（柴田町，大河原町）（平成 28 年度 3 次／平成 29 年度／平成 30 年度 1 次（大河原町のみ））

平成 28 年 3 月に「東北 6 県見るもの・食べもの・買いもの 100 選」に観光庁から選定された白石川一目千本桜や船岡城址公園を訪れる外国人を含む観光客の満足度を高めるために、観光資源，観光施設，観光インフラの充実を図り，東北人の人情をもっておもてなし環境の質の向上を図る。

- (28) みちのくおとぎ街道インバウンド受入環境整備事業（宮城県白石市，宮城県七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高島町）（平成 29 年度 1 次）

訪日外国人旅行者の移動や買い物を円滑にするためのツールを作成するとともに，接遇セミナーを開催する。

- (29) 白石蔵王連携・インバウンドおもてなし事業（白石市，蔵王町）（平成 29 年度 1 次）

白石市と蔵王町が連携し，外国人観光客に訴求する多国語観光ホームページを作成する。ホームページには 2 団体を周遊するモデルコース提案や，SNS を組み込み外国人目線で見えた観光コンテンツを定期的に情報発信することで，既存の観光コンテンツの磨き上げも行う。問い合わせには外国語で答える体制も整える。

- (30) 交通インフラ実験事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 29 年度 1 次）

二次交通等交通拠点から観光コンテンツまでのアクセス向上を目的とし，協議ならびに実証実験を行う。対象とする移動手段はバス，タクシー，自転車，レンタカーを軸とする。

- (31) 旅行者向けガイドブック制作事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 29 年度 1 次）

仙南地域のコンテンツの説明及びアクセスを解説した冊子を作成するガイドブックは英語・繁体字・タイ語の 3 言語とし，それぞれ適切な内容を協議する。

- (32) 多言語ガイドブック制作・設置事業（名取市，岩沼市）（平成 30 年度 1 次）

平成 29 年度において行ったルート調査・設定結果を，ジャパンエコトラック統一デザイン公式ルートマップ（多言語）に仕上げ，ジャパンエコトラック協議会に加入し，国内外のアウトドアショップ約 100 箇所や仙台空港ランナーズポート，各市観光施設へ設置・配布する。ジャパンエコトラック公式 HP では，当該エリアについて外国語対応デジタルマップによる情報発信を行う。

- (33) 予約サイト構築・運営事業（名取市，岩沼市，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

造成したツアーの予約を受付けるためのサイトを構築する。タクシー及び観光施設の予約，ガイドの手配等の予約受付後のスキームを整え，ツアーの販売拡大につなげていく。予約サイトには顧客管

理のスキームも導入する。

(34) Wi-Fi 整備促進事業（大崎市）（平成 30 年度 1 次）

インバウンドに訴求力のあるコンテンツの集中している鳴子温泉駅周辺のエリアについて、Wi-Fi 環境を整備し、多言語案内表示や多言語版観光アプリと連動させ、外国人旅行者自らによる SNS での情報発信を促すことで、風評被害の払拭、DESTINATION としての認知拡大と新たな旅行需要の開拓につなげる。

(35) みやぎ蔵王三源郷交通アクセス向上検証事業（蔵王町、村田町、川崎町）（平成 30 年度 1 次）

宮城県南地域で鉄道が通っていない 3 団体（蔵王町、村田町、川崎町）が連携し、この地域を訪れる外国人観光客の交通アクセス向上に向けた 2 次交通及び 3 次交通の検証事業を推進するもの。

(36) 交通インフラ整備事業（丸森町、白石市、名取市、角田市、岩沼市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、亘理町、山元町）（平成 30 年度 1 次）

交通関係では、二次交通等交通拠点から観光コンテンツまでのアクセス・利用環境の向上を目的とし、スキーム開発を行う。

(37) インバウンド受入環境整備事業（大河原町、柴田町）（平成 30 年度 2 次）

白石川堤一目千本桜や船岡城址公園を訪れる外国人観光客の満足度を高めるため、玄関口である JR 船岡駅と JR 大河原駅周辺や白石川堤周辺への案内サイン、ホームページの多言語化による情報発信を行う。

(38) ガイド人材マッチングプラットフォーム構築事業（丸森町、白石市、名取市、角田市、岩沼市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、亘理町、山元町）（平成 30 年度 2 次）

南宮城で実施するツアーにおいて、外国語ガイドの手配プラットフォームを整備し、首都圏等の人材も登録可能な仕組みとすることにより、広域ガイド人材ネットワークを構築する。

(39) 新法に適応した民泊推進事業（丸森町、白石市、名取市、角田市、岩沼市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、亘理町、山元町）（平成 30 年度 2 次）

南宮城において平成 30 年度事業で実施したイベント民泊参加ホスト等に対し、住宅宿泊事業法（民泊新法）に基づく申請に必要な知識を習得するための勉強会を開催するほか支援を行い、民泊ホスト数の増加を目指す。

(40) サイクルツーリズム受入体制整備事業（気仙沼市、南三陸町、陸前高田市）（平成 31 年度 1 次）

平成 30 年度の「自転車走行環境調査事業」で決定したサイクリングコースについて、当該モデルルートやルート上の景勝地、観光施設、飲食店等の着地情報を示すマップや多言語 WEB サイト（スマートフォン、ブラウザ版）を制作する。

(41) インバウンド受入環境整備事業（気仙沼市）（平成 31 年度 1 次）

国内観光客向けに磁気カードで運用している気仙沼クルーカードについて、キャッシュレス決済の導入を見据えてアプリに移行を図ることにより外国人観光客の利用を促進し、QR コード読み取り環境整備や GPS 機能を活用した観光情報発信等を行う。

(42) 宮城オルレ・唐桑コース受入環境整備事業（気仙沼市，宮城県）

（平成 31 年度 1 次／令和 2 年度 1 次）

訪日外国人が『宮城オルレ 気仙沼・唐桑コース』を安心して観光できる体制を整備し、観光地としての受入態勢を向上させることで宮城オルレの魅力を上向きにさせ継続的な訪問を促進する。

(43) OneZao 受入環境整備事業（6 市町連携分）（白石市，川崎町，蔵王町，七ヶ宿町，山形県山形市，山形県上山市）（平成 31 年度 1 次／令和 2 年度 1 次）

2022 年中国北京で開催される冬季オリンピックに向け、スキー場を複数持つ白石蔵王地域において高まっている、中国語あるいは英語対応のできる窓口担当者や技術講師のニーズに対応するための受入環境整備を実施する。令和 2 年度は宿泊施設の対応力向上のための研修会やワンストップ相談体制の構築を行う。※令和 2 年度（繰越分）は新型コロナウイルス感染症の影響により取りやめ

(44) 栗駒山麓を中心としたゆっくりひとめぐり推進事業（栗原市，秋田県湯沢市，秋田県東成瀬村，岩手県一関市）（平成 31 年度 1 次）

平成 30 年度に作成した各種ツール類を活かし、対象国を「英語圏」に拡大するための受入環境整備を行う。また併せて現地旅行会社による旅行商品造成と販売支援を本格化させる。

(45) 観光拠点二次交通等受入環境整備事業（大崎市）（平成 31 年度 1 次）

仙台空港と鳴子温泉間における二次交通の事業化に向け、直通マイクロバスの試験運行を実施することによりインバウンドの利用状況を把握し、改善点等の検証を行う。

(46) みやぎ蔵王三源郷インバウンド宿泊促進事業（蔵王町，村田町，川崎町）（平成 31 年度 1 次）

平成 30 年度に導入した仙台空港からのシャトルバスについて、より効果的に誘客に結びつけるために、旅行会社と提携してターゲット国の嗜好に合わせた 3 町の観光スポット，体験メニュー，グルメ等と 2 次交通のシャトルバスを組み合わせた F I T 向けツアーの商品造成，販売及び各種情報発信を行う。

(47) 白石川一目千本桜観光連携体制強化及び観光人材育成強化事業（大河原町，柴田町）

（平成 31 年度 1 次）

地域住民によるインバウンド誘致への機運醸成や広域観光の推進を一層図るため，インバウンドセミナーの開催や小中学生のボランティアガイド等の観光人材の育成に取り組むことにより，観光マネジメント力を強化する。

- (48) 白石川堤一目千本桜おもてなし受入環境整備強化事業（大河原町，柴田町）（平成 31 年度 1 次）
白石川堤一目千本桜の観光地としてのブランド確立及び広域連携観光等を目的として更なるインバウンド観光推進のため，多言語案内サイン等の製作・設置を行い外国人観光客の利便性の向上を図る。
- (49) 電車・バス等の自転車運送のテスト走行事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 31 年度 1 次）
南宮城の交通事業者と連携し，スポーツサイクル推進に向けて自転車の公共交通機関への乗り入れのテスト走行を行う。また，個人旅行客の外国人サイクリストを想定し，自由にスポーツサイクルを楽しめる体制を整えると共に，公共交通機関等の活用を踏まえた広範囲のサイクルルートを整備する。
- (50) サイクル交通ソフトインフラ拡充事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 31 年度 1 次）
平成 30 年度に構築した南宮城におけるサイクル交通インフラ（サイクルサービスの WEB オンライン予約・決済システム、サイクリングコース情報の掲載などができるプラットフォーム）を活用し，サイクリングコース及びサイクルサービス商品の充実化とサービスレベルの向上を図る。
- (51) 日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」受入環境整備事業（涌谷町，気仙沼市，南三陸町，岩手県平泉町，岩手県陸前高田市）（平成 31 年度 1 次／令和 2 年度 1 次）
文化庁「日本遺産」認定を目指し作成した，宮城県涌谷町・気仙沼市・南三陸町，岩手県平泉町・陸前高田市が有する「みちのくの金」にまつわる文化財・歴史・文化に基づいたストーリー「みちのく GOLD 浪漫」について，令和元年度は「みちのく GOLD 浪漫ストーリーの多言語化事業」として，外国人観光客に対しても魅力的に伝え，滞在周遊を促すよう，WEB サイトを開設するなどの多言語化を進める。令和 2 年度は令和元年度に整備した多言語対応したウェブサイトと連動し，現地の観光スポットにおいて，外国人にその魅力が伝わり理解が促進されるよう，多言語案内板を整備する。
- (52) インバウンド対応施設の設備改修事業（涌谷町，気仙沼市，南三陸町，岩手県平泉町，岩手県陸前高田市）（平成 31 年度 1 次）
涌谷町におけるインバウンド受入の拠点である天平ろまん館及び国史跡「黄金山産金遺跡」について，外国人観光客の利便性向上を図るため施設整備に取り組む。
- (53) 宿泊施設の O T A 掲載支援事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（令和元年度 2 次）
2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向け，東北地方でも特に外国人宿泊客の取り込みが遅れている宮城県南エリアの宿泊施設に対して O T A への掲載支援を実施し，訪日外国人の宿泊客の確保を図る。
- (54) インバウンド旅行環境快適化事業（塩竈市）（令和 2 年度 1 次）
塩竈市観光振興ビジョンにおいて位置づけている観光導線上において，公衆トイレの洋式化や観光

施設の案内サインの多言語化や QR コードの活用及び必要個所の調査、また塩竈市魚市場の訪日外国人旅行者に対する受入体制の充実・強化に向けた施設整備等を行う。

(55) まちのおもてなし体制向上事業（塩竈市）（令和 2 年度 1 次）

訪日外国人観光客へのおもてなし力向上と観光消費拡大を図るため、観光施設、事業者等を対象としたおもてなし向上のための人材育成セミナーの開催、翻訳機の配備により受入態勢の向上を図る。

(56) OneZao 受入環境整備事業（白石市単独分）（白石市）（令和 2 年度 1 次）

外国人観光客に求められる受入環境の整備に向け、体験型コンテンツの利用料にかかるキャッシュレス決済対応や、白石市内の観光案内情報の多言語化を図る。

(57) 栗駒山麓インバウンド受け入れ環境整備事業（栗原市，秋田県湯沢市，秋田県東成瀬村，岩手県一関市）（令和 2 年度 1 次）

FIT 層に対する受入環境整備として、仙台駅、くりこま高原駅、一ノ関駅、大曲駅を起点に、当該地域で二次交通周遊観光をストレスなく楽しめるよう、立ち寄り施設の多言語対応、ドライブルートの設定を行う。

(58) OneZao 受入環境整備事業（蔵王町単独分）（蔵王町）（令和 2 年度 1 次）

仙台空港から遠刈田温泉や外国人に人気のスポットである蔵王キツネ村まで運航するシャトルバスの認知度向上のため、運行情報の海外発信など利用促進に向けたプロモーションなどを行うことで、海外からの誘客促進と滞在時間の長時間を図る。※新型コロナウイルス感染症の影響により取りやめ

(59) 東北・夢の桜街道桜の札所看板整備事業（大河原町，柴田町）（令和 2 年度 1 次）

東北・夢の桜街道推進協議会が指定した桜の札所 108 か所について、外国人に対する受入環境整備の一環として、桜の札所のある関係各市町及び同協議会とが連携して統一的な看板整備を実施する。

(60) 東京オリパラ誘客対応白石川堤一目千本桜おもてなし受入環境整備強化事業（大河原町，柴田町）（令和 2 年度 1 次）

外国人観光客に白石川堤一目千本桜や地域資源等の魅力を伝える多言語対応の観光案内板等の整備を行うとともに、外国人観光客にワンストップで観光サービスを提供できる体制づくりを行う。地域住民及び小中学生によるボランティアガイドの育成を行い、次世代の担い手を養成する。

(61) サイクルツーリズム推進に向けた新たなサービス整備と人材育成事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（令和 2 年度 1 次）

令和元年度までに整備を進めてきた南宮城におけるサイクル交通インフラ（サイクルサービスの WEB オンライン予約・決済システム、サイクリングコース情報の掲載などができるプラットフォーム）の利用拡充およびサイクリストの満足度向上、リピーター増加を目的として、新たなサイクルサ

ービスの開発およびその担い手の育成を実施する。

(62) オリパラを契機とした訪日外国人旅行者誘導看板整備事業（塩竈市，多賀城市，七ヶ浜町）
（令和 2 年度 1 次）

町内に駅が無いことから、訪日外国人旅行者の最寄り駅である本塩釜駅及び多賀城駅から町内観光スポット（菖蒲田海水浴場など）への誘客を図るため、多言語誘導看板とロードサインを設置する。

(63) オリパラを契機とした訪日外国人旅行者誘導看板整備事業（女川町）（令和 2 年度 1 次）

交通拠点「女川駅」から観光スポットや町内各エリアを円滑に回遊できる「歩きたくなるまち」にするため、外国人観光客にもわかりやすいサイン誘導の多言語観光案内看板整備を図る。

③ スケジュール

事業	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
外国人観光客災害復興緊急誘致促進事業(ショッピングツーリズム環境整備支援事業)（宮城県）	●————●					
インバウンド誘客拡大受入環境整備事業（宮城県）	●————●					
サインの多言語化表記による訪日外国人誘致促進事業（宮城県）	●————●					
みやぎ Free Wi-Fi（仮称）整備事業（宮城県）	●————●					
ハラール対応食普及促進事業（宮城県）	●————●					
三陸地域広域連携インバウンド対応事業（宮城県）		●————●				
仙南地域アクセスガイドブック作成事業（宮城県）		●————●				
体験型観光コンテンツ等パンフレット作成業務（宮城県）		●————●				
韓国 S I T を対象とする誘客推進事業（宮城県）			●——●			
体験型民泊等受入整備事業（宮城県）			●————●	————●		
Web プラットフォーム構築事業（宮城県）			●————●	————●		
中国観光客受入基盤整備事業（宮城県）			●————●			
訪日教育旅行誘致促進事業（宮城県）			●————●	————●		

小型プロペラ機の地域間周遊体制整備事業（東北6県，新潟県）						
マーケティングリサーチ&デベロップメント事業（宮城県）						
産学連携 ICT 技術を活用した滞在周遊利便性向上事業（宮城県）						
二次交通利用拡大事業（宮城県，松島町，岩手県平泉町）						取り止め
広域二次交通の整備及び情報のデジタル化支援事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）						
【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】東北トラベルコンシェルジュ人材育成事業（宮城県）						
【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】宮城酒蔵ツーリズム振興基盤強化（宮城県）						
飲食店外国語対応支援事業（宮城県）						
東北広域での二次交通対策事業（東北観光推進機構，東北6県，仙台市）						
デジタルマーケティング推進事業（宮城県，岩手県）※R1はプロモーション事業の区分で実施						
多言語音声対応観光ガイドブック・音声ガイドペン導入事業（栗原市，登米市，岩手県一関市，岩手県平泉町）						
しろいし情報館デジタルサイネージ強化事業（白石市）						
国道113号多言語誘客プロジェクト（宮城県白石市，宮城県七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高島町）						
白石川一目千本桜おもてなし環境強化事業（柴田町，大河原町）						
みちのくおとぎ街道インバウンド受入環境整備事業（宮城県白石市，宮城県七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高島町）						

白石蔵王連携・インバウンドおもてなし事業（白石市，蔵王町）						
交通インフラ実験事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
旅行者向けガイドブック制作事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
多言語ガイドブック制作・設置事業（名取市，岩沼市）						
予約サイト構築・運営事業（名取市，岩沼市，亘理町，山元町）						
Wi-Fi 整備促進事業（大崎市）						
みやぎ蔵王三源郷交通アクセス向上検証事業（蔵王町，村田町，川崎町）						
交通インフラ整備事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
インバウンド受入環境整備事業（大河原町，柴田町）						
ガイド人材マッチングプラットフォーム構築事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
新法に適応した民泊推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
サイクルツーリズム受入体制整備事業（気仙沼市，南三陸町，陸前高田市）						
インバウンド受入環境整備事業（気仙沼市）						

宮城オルレ・唐桑コース受入環境整備事業（気仙沼市，宮城県）						
OneZao 受入環境整備事業（白石市，川崎町，蔵王町，七ヶ宿町，山形県山形市，山形県上山市）						取り止め
栗駒山麓を中心としたゆっくりひとめぐり推進事業（栗原市，秋田県湯沢市，秋田県東成瀬村，岩手県一関市）						
観光拠点二次交通等受入環境整備事業（大崎市）						
みやぎ蔵王三源郷インバウンド宿泊促進事業（蔵王町，村田町，川崎町）						
白石川一目千本桜観光連携体制強化及び観光人材育成強化事業（大河原町，柴田町）						
白石川堤一目千本桜おもてなし受入環境整備強化事業（大河原町，柴田町）						
電車・バス等の自転車運送のテスト走行事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
サイクル交通ソフトインフラ拡充事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
日本遺産「みちのくGOLD浪漫」受入環境整備事業（涌谷町，気仙沼市，南三陸町，岩手県平泉町，岩手県陸前高田市）						
インバウンド対応施設の設備改修事業（涌谷町，気仙沼市，南三陸町，岩手県平泉町，岩手県陸前高田市）						
宿泊施設のOTA掲載支援事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						

インバウンド旅行環境快適化事業(塩竈市)						
まちのおもてなし体制向上事業(塩竈市)						
OneZao 受入環境整備事業(白石市単独分)(白石市)						
栗駒山麓インバウンド受け入れ環境整備事業(栗原市, 秋田県湯沢市, 秋田県東成瀬村, 岩手県一関市)						
OneZao 受入環境整備事業(蔵王町単独分)(蔵王町)						取り止め
東北・夢の桜街道桜の札所看板整備事業(大河原町, 柴田町)						
東京オリパラ誘客対応白石川堤一目千本桜おもてなし受入環境整備強化事業(大河原町, 柴田町)						
サイクルツーリズム推進に向けた新たなサービス整備と人材育成事業(丸森町, 白石市, 名取市, 角田市, 岩沼市, 蔵王町, 七ヶ宿町, 大河原町, 村田町, 柴田町, 川崎町, 亘理町, 山元町)						
オリパラを契機とした訪日外国人旅行者誘導看板整備事業(塩竈市, 多賀城市, 七ヶ浜町)						
オリパラを契機とした訪日外国人旅行者誘導看板整備事業(女川町)						

④ 効果の把握及び評価方法

各整備施設の利用者数等

滞在コンテンツ充実・強化事業

① 必要とする理由

魅力的な観光資源であるにも関わらず、多言語案内表示の不足や二次交通等の問題から、外国人にとって行きづらい場所となっている観光地について、民間業者等と連携しながら、試験的な二次交通の確保、ツアー造成等を行うなど、ストレスフリー且つ長期滞在が可能なコンテンツの創出・磨き上げが急務である。

② 事業概要

(1) 仙南地域滞在型ツアー造成事業（宮城県）（平成 28 年度 1 次）

仙南地域における広域的な外国人旅行者向けの観光ルート形成や、海外の地域ごとの情報発信等を行う。

(2) レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業（東北観光推進機構，東北 6 県）（平成 28 年度 1 次）

台湾，香港，シンガポール等ドライブ周遊観光に一定の需要が見込まれるマーケットに向けて、「Tohoku Expressway Pass」等の各種ツールを活用するとともに，広域観光周遊ルート促進事業等の他事業も組み合わせパッケージとして広告展開を行う。

(3) 多言語対応アイラブオオサキ動画制作・発信事業（宮城県）（平成 28 年度 2 次）

大崎地域の複数の市町の観光情報を広く発信するための Web ページ「アイラブオオサキ」について，VR（バーチャルリアリティ）を用いた 360° 映像を含む動画を制作し，中国・台湾・韓国・英語圏の 4 カ国後に対応できるよう翻訳，ページデザイン，ページ設計を行い，海外に観光情報を発信する。

(4) 東北太平洋沿岸等における受入整備事業（東北観光推進機構，青森県，岩手県，宮城県，福島県，仙台市）（平成 28 年度 2 次／平成 29 年度 1 次）

東北太平洋沿岸に点在する地域資源をインバウンド視点で見直し，語り部ガイドの広域連携，教育旅行の受入体制整備，みちのく潮風トレイルのインバウンド向けの活用などを図る。また，東北太平洋沿岸部の観光を推進していくためのプロモーション計画や多言語によるプロモーションツールを整備し，旅行商品の造成に向けたプロモーション商品を体験してもらうことで，東北の復興状況や魅力を発信し，風評被害の払拭を図る。

(5) 仙台空港を利用する訪日外国人旅行客誘客促進事業（宮城県）（平成 29 年度 1 次）

インバウンド向けに本県の観光資源を再発見し，地域資源を活用するなど新たな魅力づくりに取り組み，「(仮称) 旅メディア」との連携による地域資源を活用した情報発信等を行う。

(6) 宮城オルレ推進事業（宮城県）

（平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次／令和 2 年度 1 次）

韓国で人気がある，様々な観光資源を組み合わせた複数のトレッキングコースからなる「オルレ」

のコース造成に取り組む。

また、開設したコースのプロモーションやさらなる魅力あるコンテンツとしての磨き上げに取り組み、インバウンド誘客を図る。

(7) 国際トレイル誘客事業（宮城県）（平成 31 年度 1 次）

世界の国・地域のトレイル団体で構成された組織「ワールド・トレイルズ・ネットワーク」の協力のもと、宮城及び宮城オルレの魅力を世界各地に発信し、世界のトレイル・ツーリズム需要を取り込むための事業を展開する。

(8) 冬の東北とスノーコンテンツ等発信事業（東北観光推進機構，東北 6 県）（平成 29 年度 1 次）

東北の「冬」・「雪」の観光資源を活用した観光コンテンツを活用した情報発信を行うとともに、「東北ふゆまつり」との連携による旅行商品の造成や在京ランドオペレーター等を対象とした FAM トリップを実施する。

(9) インバウンド向け防災観光の基盤整備事業（宮城県，仙台市）（平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

震災の経験を語り継ぐ語り部や防災教育，ジオパーク等の防災コンテンツをインバウンド向けの観光コンテンツに整備して情報発信するとともに，更なるコンテンツ磨き上げに取り組む。

(10) 「稼ぐ」観光地域化連携・協働事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

インバウンド富裕層もターゲットに含めてマーケットインの視点でDMO圏内の観光資源の発掘・創出を行う。また，空港，JR を軸に船・バス・レンタカー・自転車などの二次交通と連携した旅行商品等の造成及び海外エージェントと連携した地域旅行商品販売網の整備，観光ガイドの観光人材育成に取り組むことにより域内消費の加速化につなげる。

（平成 30 年度は「観光事業」の名称で実施）

(11) 欧米豪を対象とした沿岸被災地等観光コンテンツ整備事業（宮城県，岩手県，新潟県）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次／令和 2 年度 1 次）

欧米豪で人気のあるアグリツーリズムや農泊，農業体験等の体験型コンテンツをテーマに，沿岸被災地を中心とした地域において，宿泊施設等の観光関係者向けに「勉強会及び研修」と「欧米豪観光客受入実証実験」を実施し，既存コンテンツに係る課題の抽出・分析を行い，欧米市場 SIT 旅行者のニーズを捉えたコンテンツのさらなる磨き上げと商品化を図る。

また，情報のデジタル化に対応するためインターネット上の交通経路検索の強化と，富裕層を対象としたコンテンツである小型プロペラ機の地域間周遊の商品化に向けた取り組みを行う。

(12) 観光事業者連携モデル事業（宮城県）（平成 30 年度 1 次）

宿泊事業者，飲食事業者，お土産事業者（小売事業者），体験型観光事業者などの観光事業者が連携する機会を創り，各事業者や地域の魅力資源の開発，組み合わせや磨き上げを行い，着地型旅行商品

造成までの取組を支援する。DMOが組織された3地域のうち、1地域において実施することとし、他の地域DMOの取り組みのモデルとなるよう横展開を図る。

- (13) 東北太平洋沿岸等における観光復興対策事業（東北観光推進機構、青森県、岩手県、宮城県、福島県、仙台市）（平成30年度1次）

青森県、岩手県、宮城県、福島県及び仙台市（以下、「4県1市」という。）の太平洋沿岸地域（以下、「対象地域」という。）においては、東日本大震災後の観光客入込の回復が遅れており、特に外国人旅行者については、風評被害の影響もあり他地域に比べて著しく低調な状況が続いていることから、復興ツーリズムの推進により外国人観光客の入れ込み拡大を図るため、4県1市が連携して対象地域内における受入態勢の整備、受入実証実験、プロモーションを行う。

- (14) 冬の東北と着地コンテンツ整備事業（東北観光推進機構、東北6県）（平成30年度1次）

過年度事業において冬季コンテンツの収集や多言語化の支援等を行いつつ、着地型旅行商品を造成する等してきたが、さらに充実させるため、外国人観光客が楽しめコンテンツの受入環境整備を行う。

また、効率的に東北の魅力ある観光地を楽しんでもらうため、レンタカー業界団体や自治体等と連携した課題解決に向けた取組を行う。

- (15) 南東北連携FIT向けロードマップ整備事業（宮城県、山形県、福島県、栃木県）（平成31年度1次）

タイのFIT層をターゲットに、南東北及び栃木県が連携し、4県周遊のロードマップを整備するとともに、モニターツアーによる課題の抽出、旅行社招請による商品造成により、羽田・成田（・仙台）をゲートウェイとしたレンタカー・公共交通機関利用による東北への観光流動を促進する。

- (16) 「東京+1」五輪商品開発事業（グランピング）（宮城県、登米市）（令和元年度2次）

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会における誘客を図るため、東北の雄大な自然と伝統・文化に根差した特色ある体験を提供するためのコンテンツとして「グランピング」に焦点を当て、体験と宿泊（グランピング）を組み合わせた着地型旅行商品を造成する。

- (17) 【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】海外エージェント及び地域パートナーとの共同商品造成事業（宮城県）（令和2年度1次）

仙台・松島復興観光拠点都市圏を3つのエリアに分け、それぞれ自治体や民間団体が共同した地域の魅力的な観光資源を活用した旅行商品の造成を進めるとともに、商品の販路開拓を図るため海外エージェンシーとのパートナーシップを構築し、さらなる誘客の促進を図る。

- (18) 【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】復興オリ・パラ連動セカンド・デスティネーション誘客商品造成（宮城県）（令和2年度1次）

仙台・松島復興観光拠点都市圏を3つのエリアに分け、それぞれ自治体や民間団体が共同した地域の魅力的な観光資源を活用した旅行商品の造成を進めるとともに、商品の販路開拓を図るため海外エージェンシーとのパートナーシップを構築し、さらなる誘客の促進を図る。

(19) アジアを対象とした体験型商品造成事業（東北6県，仙台市，塩竈市，登米市，大崎市，松島町，東北観光推進機構）（令和2年度1次）

東京オリ・パラ開催に向けて，東北の魅力である自然などを満喫できるよう，体験型コンテンツを組み合わせた商品造成を行う。また，宿泊施設等のインバウンド対応強化に向けた支援を行う。

(17) 白石川花巡り空間魅力アップ事業（柴田町，大河原町）（平成28年度3次／平成29年度1次）

旅行経験豊かな観光客や外国人やリピーターを呼び込むために，フラワーツーリズムを主眼とした地域独自のコンテンツに常に磨きをかけ，「東北6県見るもの・食べもの・買いもの100選」の魅力と併せて発信しながら，誘客力の強化を図る。

(18) みちのくおとぎ街道インバウンドツアー事業（宮城県白石市，宮城県七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高島町）（平成29年度1次）

食文化，まつりなどの地域ならではの資源を活用し，地元住民と交流ができる観光コンテンツを整備し強化する。インフルエンサーや旅行会社の招聘・訪問を実施し情報発信と旅行商品の造成につなげる。

(19) OneZao インバウンド滞在コンテンツ充実強化事業（白石市単独）（白石市，川崎町，蔵王町，七ヶ宿町，山形県山形市，山形県上山市）（平成29年度1次／平成30年度1次／平成31年度1次／令和2年度1次）

白石城などの歴史文化資源を生かし体験型コンテンツ「甲冑試着体験」とにぎやかしによるおもてなしの強化を図る。また，甲冑試着体験の更なる磨き上げを図るための調査等を実施する。令和2年度は白石城における体験型コンテンツの充実・強化などに取り組む。

（平成29年度及び平成30年度は「みちのくおとぎ街道インバウンド体験型コンテンツ強化事業」として実施）

(20) ルート調査・設定事業（名取市，岩沼市）（平成29年度1次）

地域資源を活かしたサイクリング，ウォーキング，マラソン，トレッキング等人力による新しい旅を楽しむ外国人旅行者に適するルートの調査とジャパンエコトラック認定取得を目指したルート設定を行うもの。

(21) テスト集客（名取市，岩沼市）（平成29年度1次）

モニターツアーに参加した台湾旅行会社と連携しテスト集客を実施する。テスト集客した台湾人旅行者へCS調査を実施するもの。

(22) 栗駒山麓インバウンド推進事業（栗原市，岩手県一関市，秋田県湯沢市，秋田県東成瀬村）（平成29年度1次）

宮城・岩手・秋田の三県にまたがる栗駒山及び周辺エリアの滞在コンテンツの充実を図るため，アウトドアアクティビティ目的で訪日する外国人旅行者に対しアンケート調査を実施し，外国人登山者

の動向を把握するとともに、台湾人のインフルエンサーやモニターツアーを実施し、外国人目線での魅力開発や課題の洗い出し等を行う。

- (23) ソフトコンテンツ充実事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）（平成 29 年度 1 次／平成 30 年度 1 次）

タイ人向けソフトコンテンツ，台湾人向けソフトコンテンツを中心に，各国の観光客を対象としたコンテンツの充実・テストマーケティングを行う。

- (24) モニターツアー実施事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）（平成 29 年度 1 次）

対象地域を巡る 5 泊程度のモニターツアーを行う。旅行者は交通費の半額を支払う形式にすることで，より現実的な意見を吸い上げる狙いがあり，複数回開催により合計で 30 名程度の誘客とフィードバックを得ることを目的とする（インセンティブツアーや，修学旅行なども積極的誘致を図ることとする）。

- (25) 新規ツアー造成，地域特化ツアー増強事業（名取市，岩沼市，亶理町，山元町）（平成 30 年度 1 次／平成 31 年度 1 次）

平成 29 年度に造成したツアーの改善及び地域の強みを活かしたテーマツアーを新たに造成する。平成 29 年度台湾旅行会社モニターツアーにおいて評価の高かった「フルーツ」，「食」，「歴史」等のテーマツアーを造成し，外国人旅行客に特化したサービスを開発する。また，タクシーの活用に加え，地域内の公共交通機関を組み合わせた交通手段を検討して，新たなツアーを造成する。

また，平成 31 年度は震災学習と日本文化体験を基本に，ジャパンエコトラック等の仙台空港周辺地域の特色を打ち出したツアーを造成すると共に，DMO 等と連携しガイド育成も行う。

- (26) 現地エージェント等を対象としたインバウンド推進事業（登米市，栗原市，岩手県一関市，岩手県平泉町）（平成 30 年度 1 次）

台湾の旅行者嗜好やニーズを現地旅行エージェントなどの目を通して，当該地域の旅行を企画し，外国人の視点からの観光の魅力や受け入れ環境を評価，商品企画・造成・販売することにより，訪日外国人宿泊者人泊数の増加を図る。

- (27) 多言語案内表示設置並びに街並み整備事業（大崎市）（平成 30 年度 1 次）

インバウンドに訴求力のあるコンテンツの集中している鳴子温泉駅周辺をはじめ，鳴子温泉郷の 5 つのエリアについて，生産量日本一を誇る鳴子こけしをモチーフにした多言語の案内看板を設置し，日本人には馴染みの浴衣を着て下駄を鳴らしながら街歩きをする楽しさをインバウンド向けに提案することで新たな旅行需要を開拓する。

- (28) みちのくおとぎ街道滞在コンテンツ強化事業（七ヶ宿町単独分）（平成 30 年度 1 次）

七ヶ宿町の四季をはじめとする地域資源と歴史文化資源を活用し，滞在コンテンツを PR する。

(29) 白石川彩空間魅力アップ事業（大河原町，柴田町）（平成 30 年度 1 次）

外国人リピーターを呼び込むために、イルミネーションイベントの開催など地域独自のコンテンツに常に磨きをかけ、東北ならではのフラワーツーリズム等を推進する。また、住民主体で行う日本ならではの体験プログラムへの参加をとおして東北人の人情に触れることで、受入側のおもてなし環境の質の向上を図る。さらに「東北 6 県見るもの・食べもの・買いもの 100 選」の魅力と併せて情報発信しながら、誘客力の強化を図る。

(30) キラーコンテンツ創造事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

欧米・アジア富裕層向け P K G の開発・販売，医療ツーリズムの開発・販売（中国向け），学生等を対象としたアクティブラーニング教育旅行の企画販売 を想定。

(31) ファムツアー事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 30 年度 1 次）

外国人への訴求力が強いブロガーや旅行代理店，メディア等を招き，2 泊 3 日のツアーを行う。ブロガーや旅行代理店は日本に関するコンテンツを取り扱う方を選定し，タイ・台湾・中国それぞれ計画する。

(32) 白石川堤夜景観賞とまちなか食巡り事業（大河原町，柴田町）（平成 30 年度 2 次）

白石川堤の夜景観賞とまちなかの飲食店を巡るツアーの開発により，外国人リピーターを呼び込むため，東北ならではのコンテンツを強化し，観光メニューの充実を図る。

(33) 地域の食を通じた自然，歴史等の再編集・レシピ等開発事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 30 年度 2 次）

食を通じて地方に残された美しい自然や伝統文化，歴史，地産物などを伝えるため，外国人観光客向けに再編集したコンセプトレシピ等を開発する。

(34) Japan Premium Stay Project 白石城ステイ事業（白石市）（平成 31 年度 1 次）

ハイクラス外国人観光客を対象に白石城での宿泊や城下町の文化体験を行う公募型プレミアムモニターツアーを実施し，体験型観光コンテンツの磨き上げを図ると共に，Web サイトを活用し広く国内外にツアーの模様を周知し外国人観光客の誘客を図る。

(35) ジャパンエコトラック（ロングトレイル）による蔵王観光発信事業（白石市，蔵王町，七ヶ宿町，川崎町，仙台市，山形県山形市，山形県上山市）（平成 31 年度 1 次）

平成 29 年度に仙台市と連携し設定したロングトレイルコースをベースに自転車やカヌー等人力による移動手段で，自然を体感しながら地域の歴史や文化，人々との交流を楽しむ旅「エコトラック」へと発展させ，コース新設や延長及び派生ルートの実現を図り海外からの誘客を促進する。

- (36) OneZao インバウンド滞在コンテンツ充実強化事業（蔵王町単独）（蔵王町，白石市，七ヶ宿町，川崎町，山形県山形市，山形県上山市）（平成 31 年度 1 次）
蔵王エリア内の周遊観光を促すため，外国人観光客に訴求力のある，蔵王町の伝統工芸品である遠刈田伝統こけしをキーに，こけしと雪・宿・光・温泉を組み合わせた新たな滞在型体験コンテンツの造成を図る。
- (37) 「桜まつり」と「サイクルツーリズム」を核とした滞在コンテンツ強化魅力アップ事業（大河原町，柴田町）（平成 31 年度 1 次）
東北特有の自然や文化を活かした「桜まつり」や「サイクルツーリズム」によるノンバーバルな体験型コンテンツを造成することにより，更なる誘客と広域周遊を促進し観光地としてのブランド力の向上を図る。
- (38) 教育旅行推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 31 年度 1 次）
中国を主要ターゲット国とし，宮城と中国相互に教育関係者の視察を行い，学校間相互交流合意書の締結や学生の相互招致を進めると共に，台湾やタイ等の他の国々にもこれまでのリレーションを活かしながら営業と誘致を進め，また，滞在体験の満足度向上を目的として，中文簡体字・中文繁体字・英語の 3 言語で滞在パンフレットを制作し，訪日した学生に向けて配布する。
- (39) フードツーリズム推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（平成 31 年度 1 次）
南宮城の「食」を活かしたフードツーリズムを確立するため，先進地域を視察して外国人に受ける食コンテンツの洗い出しを行い，また受入可能事業者の発掘，育成及び「地域の食を味わう」という体験を組み合わせた魅力度の高い食ツアーを造成し，そのモニター調査を行う。
- (40) 台湾訪日教育旅行関係者等招請事業（南三陸町，宮城県，仙台市，蔵王町）（平成 31 年度 1 次）
台湾とは東日本大震災から復興に対する支援を機会に交流関係を継続していることから，そのつながりを活かして宮城県内の訪日教育旅行をさらに推進するため，対象地域を巡る 3 泊 4 日程度の海外教育旅行関係者等招請事業を行う。
- (41) OneZao 滞在コンテンツ充実・強化事業（6 市町連携分）（蔵王町，白石市，七ヶ宿町，川崎町，山形県山形市，山形県上山市）（令和 2 年度 1 次）
山形市の花笠祭り，白石市の鬼小十郎祭り，七ヶ宿町のわらじ祭り，川崎町の青根温泉雪あかりなど 6 市町の祭りを周遊するツアーの造成を行う。また通年向けには，各祭りで使用する衣装の試着体験などを盛り込んだツアーを造成する。※新型コロナウイルス感染症の影響により取りやめ
- (42) オリパラを契機としたホストタウン交流及び観光客誘客事業（白石市）（令和 2 年度 1 次）

東京オリ・パラホストタウンとしてベラルーシ共和国の劇団招請により同国の理解醸成やホストタウン交流の推進、受け入れ体制の整備を図るとともに、当市の体験型観光コンテンツを劇団員が体験する模様を招請する同国メディア関係者を通じてPRし、同国からの観光客誘客を図る。※新型コロナウイルス感染症の影響により取りやめ

- (43) 東京オリパラ誘客を目指した「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「スポーツツーリズム」を核とした滞在コンテンツ充実強化事業（大河原町，柴田町）（令和2年度1次）

東北ならではの自然や文化を活かした「桜まつり」や「サイクルツーリズム」、「スポーツツーリズム」等の滞在コンテンツの充実を図る。また、和文化体験プログラムや周遊コンテンツの磨き上げにより外国人観光客の満足度を高める。

- (44) 中国との教育・スポーツ交流旅行推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（令和2年度1次）

中国からの教育旅行誘致に向け、自治体首長による中国へのトップセールスや教育関係者の視察を実施する。また、中国における直接営業やメディアFAM，教育関係者，スポーツ関係者FAM等も合わせて実施する。

- (45) 南宮城の災害と防災意識について学ぶ教育ツーリズム推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）（令和2年度1次）

既存の防災教育コンテンツをインバウンド向けに開発し、台湾などでセールスなどのプロモーションを行うことにより、南宮城で体験できる教育コンテンツの1つとして定着させ、新たなターゲットの誘客につなげるとともに、オリンピック後にも継続的に誘客できる仕組みを整える。

③ スケジュール

事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
仙南地域滞在型ツアー造成事業(宮城県)	●————●					
レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業(東北観光推進機構, 東北6県)	●————●					
多言語対応アイラブオオサキ動画制作・発信事業(北部地方振興事務所)		●————●				
東北太平洋沿岸等における受入整備事業(東北観光推進機構, 青森県, 岩手県, 宮城県, 福島県, 仙台市)		●————●				
仙台空港を利用する訪日外国人旅行		●————●				

客誘客促進事業（宮城県）						
宮城オルレ推進事業（宮城県）		●	—————	●		
国際トレイル誘客事業（宮城県）				●	———	●
冬の東北とスノーコンテンツ等発信事業（東北観光推進機構，東北6県）		●	———	●		
インバウンド向け防災観光の基盤整備事業（宮城県，仙台市）		●	—————	●		
「稼ぐ」観光地域化連携・協働事業（旧：観光事業）（宮城県）			●	—————	●	
欧米豪を対象とした沿岸被災地等観光コンテンツ整備事業（宮城県）			●	—————	●	
観光事業者連携モデル事業（宮城県）			●	—————	●	
東北太平洋沿岸等における観光復興対策事業（東北観光推進機構，青森県，岩手県，宮城県，福島県，仙台市）			●	———	●	
冬の東北と着地コンテンツ整備事業（東北観光推進機構，東北6県）			●	———	●	
南東北連携F I T向けロードマップ整備事業（宮城県，山形県，福島県，栃木県）				●	———	●
「東京+1」五輪商品開発事業（グランピング）（宮城県，登米市）				●	———	●
【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】海外エージェント及び地域パートナーとの共同商品造成事業（宮城県）					●	—————
【仙台・松島復興観光拠点都市圏事業】復興オリ・パラ連動セカンド・デスティネーション誘客商品造成（宮城県）					●	—————
アジアを対象とした体験型商品造成事業（宮城県）					●	———
白石川花巡り空間魅力アップ事業（柴田町，大河原町）		●	———	●		
みちのくおとぎ街道インバウンドツアー事業（宮城県白石市，宮城県七ヶ宿町，山形県南陽市，山形県高畠町）		●	———	●		

OneZao インバウンド滞在コンテンツ充実強化事業（白石市単独） （旧：みちのくおとぎ街道インバウンド体験型コンテンツ強化事業）（白石市独自分）										
ルート調査・設定事業（名取市，岩沼市）										
テスト集客（名取市，岩沼市）										
栗駒山麓インバウンド推進事業（宮城県栗原市，岩手県一関市，秋田県湯沢市，秋田県東成瀬村）										
ソフトコンテンツ充実事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）										
モニターツアー実施事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）										
新規ツアー造成，地域特化ツアー増強事業（名取市，岩沼市，亘理町，山元町）										
現地エージェント等を対象としたインバウンド推進事業（宮城県登米市，栗原市，岩手県一関市，平泉町）										
多言語案内表示設置並びに街並み整備事業（大崎市）										
みちのくおとぎ街道滞在コンテンツ強化事業（七ヶ宿町）										
白石川彩空間魅力アップ事業（大河原町，柴田町）										
キラーコンテンツ創造事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）										
ファミツアー事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）										

白石川堤夜景観賞とまちなか食巡り事業（大河原町，柴田町）						
地域の食を通じた自然，歴史等の再編集・レシピ等開発事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
Japan Premium Stay Project 白石城ステイ事業（白石市）						
ジャパンエコトラック（ロングトレイル）による蔵王観光発信事業（白石市，蔵王町，七ヶ宿町，川崎町，仙台市，山形県山形市，山形県上山市）						
OneZao インバウンド滞在コンテンツ充実強化事業（蔵王町単独）（蔵王町，白石市，七ヶ宿町，川崎町，山形県山形市，山形県上山市）						
「桜まつり」と「サイクルツーリズム」を核とした滞在コンテンツ強化魅力アップ事業（大河原町，柴田町）						
教育旅行推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
フードツーリズム推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亘理町，山元町）						
台湾訪日教育旅行関係者等招請事業（南三陸町，宮城県，仙台市，蔵王町）						
OneZao 滞在コンテンツ充実・強化事業（6市町連携分）（蔵王町，白石市，七ヶ宿町，川崎町，山形県山形市，山形県上山市）						取り止め
オリパラを契機としたホストタウン交流及び観光客誘客事業（白石市）						取り止め

東京オリパラ誘客を目指した「桜まつり」と「サイクルツーリズム」、「スポーツツーリズム」を核とした滞在コンテンツ充実強化事業（大河原町，柴田町）					●————●	
中国との教育・スポーツ交流旅行推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）					●————●	●
南宮城の災害と防災意識について学ぶ教育ツーリズム推進事業（丸森町，白石市，名取市，角田市，岩沼市，蔵王町，七ヶ宿町，大河原町，村田町，柴田町，川崎町，亶理町，山元町）					●————●	

④ 効果の把握及び評価方法

着地型ツアー利用者数等

<計画に同意する市町村>

塩竈市
気仙沼市
白石市
名取市
登米市
栗原市
東松島市
大崎市
蔵王町
七ヶ宿町
大河原町
村田町
柴田町
川崎町
丸森町
亘理町
松島町
七ヶ浜町
涌谷町
女川町
南三陸町